

No.33 >>> Contents

●提携支援センターから

- 奄美の養蚕を復活して・・・奄美島絹推進協議会 会長 南 祐和 ————— ①
- 西陣織会館の取り組み
 ・・・・西陣織工業組合 西陣織会館 常務理事・館長 大槻 ゆづる ————— ④
- キモノ等を扱う雑誌に純国産絹製品の宣伝記事の掲載
 ・・・・蚕糸・絹業提携支援センター ————— ⑧
- 平成 25 年度第 3 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ・・・・ ————— ⑫
- 提携支援センター活動日誌 ・・・・ ————— ⑭

●蚕糸絹情報

- 平成 25 年度 (第 52 回) 農林水産祭 芦澤定弘さん (山梨県) 内閣総理大臣賞を受賞
 ・・・・財団法人 大日本蚕糸会 ————— ⑮
- 「シルク・サミット 2013 in 久米島」を開催して
 ・・・・独立行政法人 農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究開発ユニット
 上級研究員 中島 健一 ————— ⑯
- 新たに機能性を付加したユニット型座繰機を完成
 ・・・・財団法人 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水 重人 ————— ⑳

●蚕糸絹トピックス

- 「日本絹の里」の新たな取り組み
 ・・・・公益財団法人 群馬県蚕糸振興協会 町田 順一 ————— ㉒

●全国連絡協議会だより

- 平成 26 年 1 月に「宝絹 (takaraginu) 展」を
 新宿伊勢丹と横浜高島屋で開催 ・・・・ ————— ㉔

●国内情報

- シルク遺産を訪ねて⑫ 「絹の道資料館」と「絹の道」
 ・・・・東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ————— ㉖

●イベント情報

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 ————— ㉘

●蚕糸絹関係博物館一覧 ————— ㉚

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ————— ㉜

●統計資料 (統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。) ————— ㉞

奄美の養蚕を復活して

奄美島絹推進協議会

会長 南 祐和

奄美大島で養蚕の復活を試みて、早4年の歳月が流れました。養蚕の復活は「本場大島紬」という現在の大島紬は、糸を紡いでいないのに「つむぎ」と称されているのは矛盾しないだろうかと疑念を持ったからです。

大島紬発祥は、自分たちの「衣」として蚕から糸を紡ぎ作ったことから始まったといわれています。歴史をひもときますと、奄美は長い間、琉球王国や薩摩藩に支配され、その後においても昭和20年の日本の敗戦と共に米軍の統治下におかれて、支配される期間が長くありました。大島紬という特産衣料品を生産していながら、薩摩藩時代は平民が絹織物を着用することが禁止された「絹織物着用禁止令」を発せられて、島の人々は着るものさえ自由を奪われていました。一方、昔の大島紬の製作は紡いだ糸を防染をするため芭蕉糸でくくり、泥染めを施して、柄を形成していましたが、明治になり緋締めの技術が生まれ、世界に類のない緻密で精巧な緋織物が誕生しました。この技術の進歩と共に1柄16～20反の飛躍的な大量生産ができるようになり、昭和45年から55年頃大島紬の一大



50年前、養蚕の上簇の様子

ブーム（年間生産30万反の増産）を巻き起こしたのです。

その後、大島紬産地はお客様のニーズと関係なく、作り手の一方的な緻密な緋技術を競いあいました。そして、大島紬イコール高額な着物としてのイメージが作られたのです。

これはこれで良いですが、そのため、大島紬は消費者には手が届かないものと思わせるマイナス面も定着してしまいました。またその隆盛期は小売店や問屋の利益追求に利用された感があり、その反動で現在は、大島紬は日常着る「きもの」でなく、ダンスの中の「おきもの」になってしまいました。



奄美の島桑

た。

今、原点に戻って「きもの」について深く考える必要性から、原点の糸から再考するために提携グループの「奄美島絹推進協議会」を立ち上げたのです。まさに原点回帰です。

農家が養蚕を行い、生糸は製糸業者が、織物は織物業者が行うのが常ですが、これら全工程を奄美島絹推進協議会会員の手で行うよう努めているところです。そのために、蚕の品種も、かつて奄美大島で使用された「琉球多蚕繭」や黄繭種を品種改良した「奄美黄金」を飼育して、古来のずりだし技法で糸を抽出し、これを製品化しておりますし、また、最近では熊本の提携グループと連携して純国産高級織物を商品化しております。

今後、我々協議会が向かう先は、奄美の島桑で成長した蚕を使用して、原点に返り素朴でぬくもりのある商品開発、世界に類のない緻密で精巧な絣織物、その織物を元

に小物の開発、化粧品の開発などを純国産の絹による地場産業を確立することを目指しています。

発表の場

この度、熊本の鶴屋百貨店において、本年10月2日から10月14日まで、奄美島絹推進協議会としては初の試みで、純国産絹の繭産地コラボレーションとして、熊本産繭を経糸に、奄美大島産繭を緯糸に使用した製品の展示会を行いました。

「原点回帰」をテーマに「紡ぎ」にこだわり、養蚕は琉球多蚕繭や新しく開発した奄美黄金繭を使用し、製糸は古代のずりだし法による素朴な生糸を作り、着尺と袋帯、名古屋帯など絣にこだわった大島紬を製作、展示しました。

従来の大島紬も展示し、純国産の製品と比較してもらいました。お客様の反応は大島紬の代表的な「龍郷柄※」に関心が深かったものの、今回のコラボの作品を見て、明るい色や素朴な大島もあることに驚きの様子でした。今回は熊本産繭とのコラボレーション作品の発表の場であるため、即販売につながりませんでした。きものに関心の深い着物ファンのお客様を集め、従来のもので国産繭使用商品の差別化を図り、その価値観を十分認識してもらえような販売会を行えば好結果が得られるとの感触が得られました。

日本蚕糸絹業開発協同組合の熊本部会との連携・繋がりを実現できたことにより将来の展望が開けたこととなります。このよ

うな発表の機会を提供して頂いた鶴屋百貨店、そして蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会のご援助・協力で開催できたことを、深く御礼を申し上げます。

(※龍郷柄とは、月夜に庭を眺めていた時たまたま一匹の金ハブが月の光で背模様をキラキラと輝かせながら青々としたソテツの葉に乗り移ろうとしたその一瞬の神秘的な美しさを表現したところから始まっています。さらにこの柄の大島紬で作られていた奄美の村の名前から龍郷柄と名付けられました。)

これからのきもの業界

まだまだ、絹の需要は「和装」向けが主体となっております。メディアを通して感じることは、我が国を代表して海外セレモニーへの参加する要人の方々が、民族衣装である「きもの」を着用してほしいことです。せめて、外国歴訪などの夜のパーティー時に、奥様が和装を身に着け、日本の文

化をアピールしてもらいたいものです。京都府知事や京都市長がそうであるように。

我々、業界が和装振興会なる組織を盛り立て、義務教育の中でも、きものに関する授業を設けていただいたり、あらゆる機会をとらえて和の文化を継承・発展させることが、呉服専門店、和装小物屋、呉服問屋、織物業者、染色・精練業者、製糸業者、ひいては養蚕農家の存続に繋がると思いますが。

また、これら各分野でも既存の概念にとらわれず、新しい発想で時代の変化に対応し、新しいものを作り出す工夫が必要と感じております。なぜなら、「伝統」とは守るだけでなく、新しい挑戦の積み重ねが伝統に、なるのだからと確信し、今後も着実に努力してまいります。



熊本の鶴屋百貨店での展示会

西陣織会館の取組み

西陣織工業組合

西陣織会館

常務理事 大槻 ゆづる
館長

<はじめに>

平成 25 年 8 月 21 日、西陣織会館は昭和 51 年にオープンして以来変わることのなかったレジシステムを変更。年末年始しか休館日のない当館にとって、比較的来館者数の少ない夏にと計画しましたが、今夏の暑さには閉口。従業員の大半が女性ですが、一同協力して実現。西陣の女性パワーは大したものだと自負しています。

<組合創立 130 周年>

本年母体である当西陣織工業組合は創立 130 周年を迎えます。新年早々には記念式典を開催予定。記念史料展や特別きものショーも開催します。

平成 26 年 3 月 21 日から 23 日まで、京都市勧業会館（みやこめッセ）で恒例の西陣織大博覧会も開催されます。西陣の帯・きもの・ネクタイ・インテリア等西陣の製品が一同に見られるめったにない機会ですので、ご覧になっていない方は是非一度足をお運び下さい。

<現反検査実施>

また、当組合が本年度新しく取組んだ西陣帯地現反検査は、4 月 1 日から任意参加



でスタートしました。その目的は、当組合員が生産する西陣帯地の製造責任を明確にするため、消費者に対するトレーサビリティの情報提供や消費者保護、適正価格での販売です。

近年、市場における不当な高価額販売やネットによる偽装表示など問題が絶えません。

今後は、同検査の実施を問屋・小売店から消費者に至るまで広く P R ・宣伝し、合格証が添付された帯地は品質・技術力が高い西陣織製品であり、これがその証であるということが認知されるよう努力するところです。

まずは、当館の「きもの館」で展示・販売します。検査に合格した帯地製品に対する情報は、当組合のホームページに記載しております。



《<http://www.nishijin.info/gentan/>》

＜きものの館開設＞

昨年12月下旬、当館2階の一角に『きものの館』をオープンしました。

館は一般消費者からの和装全般に関する質問・相談に応じるとともに、帯を中心にきもの・帯揚げ・帯メなど和装小物に至るまで、お客様のご要望をお聞きし、産地適正価格で販売することを主眼にしています。

きもの好きの悩みのひとつでもある、きもののケア、クリニックサービスも承っています。洗い張り、しみ抜きはもちろん染かえ、一部柄に刺繍や金箔を施すなど手がけて来ました。

過去、消費者に過量に販売した事件が世間を騒がせましたが、「きものの館」は何よりも消費者に安心して購入いただける店づくりを目指しています。

約60㎡の空間は、決して広いとは言えませんが、親切・丁寧な対応に府外から来て下さるリピーターのお客様も増えています。

平成18年、本場奄美大島紬会館と西陣織会館は姉妹提携を結んでいることから「本場奄美大島紬アンテナショップ」奄美市「奄美ふるさと100人応援団店舗」も併設、西陣の帯とトータル販売を行っています。今後は他産地ともコラボやトータル

販売ができればと考えています。

＜純国産絹織工場の充実＞

大日本蚕糸会の助成・指導を受け純国産絹織工場を開設したのが平成21年。ミニ手機を使って製織するシルクマフラーが当館の唯一純国産絹マークを取得した製品のひとつでしたが、今年8月に新商品としてカーディガン・セーター・ビッグストールを申請、許可されました。

手編みのカーディガン・セーターは夏には紫外線、冷房対策にもなり、冬は真綿を入れると温かく、色も鮮やかなので、順調に人気・売れ行きが伸びています。シルクマフラー同様、定番の商品になればと思っています。併せて、ストールも洋装・和装どちらでも使用できオーダーも可能です。

価格は一般に比べて少し高めになってしまいましたが、純国産絹糸の希少価値と良さをご説明すれば納得いただけるものと信じています。

まゆクラフトも当会館では製作が追い付かない程、人気があります。細かい作業が必要なので、時間がかかるのが難点ではありますが、動物にアクセサリ、その年に応じたゆるキャラなど、親子で体験するこ





ともでき、販売もしています。

また、日本絹の里主催の「まゆクラフト展」に一昨年初めて「一本松」で応募。入賞は逃しましたが、昨年は更に気合いを入れて、ゆるキャラのぐんまちゃんと富岡製糸場を製作品。見事、最優秀賞をいただき、大喜びでした。約 3,500 粒の繭玉を使い、ぐんまちゃんのタテガミは座繰り・精練した絹糸を、蚕籠は群馬産のキビソ、糸車の枠は桑の枝を使用するなど工夫を凝らしました。

その後、同作品は日本絹の里に贈呈。本年 4 月 27 日から 6 月 9 日まで開催された横浜シルク博物館での展覧会に光栄にも展示いただきました。

<手織工房も拡大>

当会館ではミニ手機 100 台を所有。昭和 56 年から手織体験事業として修学旅行生を中心に展開しています。毎年、1 万余人の方が体験。小学校 5 年生以上が対象、約 40 分でテーブルセンターを製織することができます。平成 21 年からは純国産絹糸を使用してオリジナルマフラーも制作体験できるようになり、約 3 時間程かかりま



すが、人気を集めております。

9 月には、ミニ手機を 20 台増設し、^{そら}空引機・丸帯手機・ビロード機・綴機など含めると約 150 台所有。純国産絹糸を使用し、日本一の手織工房にするのが目標であり、夢でもあります。後継者不足が懸念されるなか、ひとりでも多くの人に関心を寄せていただきたいです。

現在、その手織工房では俵屋宗達筆 建仁寺（京都市）所蔵の国宝「風神雷神図屏風」を^{つめかきほんつづれおり}爪搔本綴織で再現しようと雷神図を製作中。

既に風神図は完成。原材料には、純国産絹糸を使用。

当初、3 年がかりで完成する予定でしたが、来年から再来年に向け琳派 400 年記念事業も開催されることから、それに合わせて伝統工芸士 2 名で制作しています。



＜西陣手づくりアカデミー新設＞

西陣織等の裂地を使用して、初心者の方でも型紙を利用して簡単に作ることができるアカデミー（ホビー）教室を新設。手提げバッグ・数寄屋袋・巾着など手がけて来ました。なかでも一番の人気は帽子で、自分で好きな柄を選ぶことができ、バッグとお揃いで作るなど、注目を集めています。

また、このアカデミーは、去年は徳之島で開催。要望も大きかったことから今年は沖永良部島での開催となりました。奄美群島では材料となる裂地も西陣織だけではなく、大島紬を使用したものも紹介。対象は



男女年齢を問わずなので、親子・家族4名で参加される方もあり、今後は更にレベルアップして受講者の皆様にもものをつくる喜びを体験していただきたいと考えています。

＜奄美・西陣コラボ展＞

平成17年9月に本場奄美大島紬会館、西陣織会館が姉妹会館締結をして8年目を迎えました。

また、本年は奄美群島日本復帰60周年のメモリアル年でもあります。毎年11月

に開催する「奄美・西陣コラボレーション展」は両産地の振興・発展を目的とし、本場奄美大島紬や西陣織の裂地を使用した新製品の展示・審査。歴史的史料の展示・公開など、内容は毎回異なりますが、年を重ねる度に充実して来ています。

今回は、復帰60周年を祝って、奄美・西陣の「技」の競演を「A i A i 広場」（奄美大島、名瀬市）で公開。純国産絹糸を使用して、西陣爪搔本綴織による「日本国旗」とすくい織によるタピストリー「わだつみに生きる人々」を製織。11月7日から9日までのコラボ展で展示、その後は奄美市へ寄贈します。

＜結びに＞

去年は尖閣諸島の問題で、あちこちで反日デモが起こり、中国を中心とした東南アジアからのお客様が多い当館は、少なからず影響を受けましたが、従来から続く和装業界の不振と併せて乗り越えるには高いハードルでした。今も業界の状況は変わることはありませんが、中国からのお客様も徐々に増え、今後増えるであろうムスリムの観光客に力を入れるところです。

国内に関しては、「きものの館」を中心に適正価格でクオリティーの高い本物の西陣織帯地を消費者に提供し、更なる純国産絹織製品の企画・開発など西陣織会館でしか味わえないものを確立できるよう諦めず努力して参ります。

京都へお越しの際は是非当館へお立寄り下さいますようお願いしております。

キモノ等を扱う雑誌に純国産絹製品の宣伝記事の掲載

蚕糸・絹業提携支援センター

財団法人 大日本蚕糸会蚕糸・絹業提携支援センターは、平成 20 年 2 月からの蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の実施に伴い、国産の繭・生糸使った魅力ある純国産絹製品の紹介や純国産絹製品の特徴等を一般消費者に広く啓蒙宣伝するため、平成 22 年度からキモノ等を扱う雑誌に純国産絹マークの紹介や純国産絹製品の生産過程の現場（繭・生糸・機織・染色等の生産現場）等紹介する内容の記事をキモノ等を扱う雑誌に掲載する事業（純国産製品等雑誌への記事掲載事業）を実施しています。

本年度も前年度に引続き事業を実施することとし、公募の結果、昨年度に引き続き(株)ハースト婦人画報社、(株)プレジデント社から応募の企画書が提出されるとともに、本年度新たに(株)世界文化社から応募があり、3社の雑誌に純国産絹製品等の記事が掲載されることとなりました。

今回は、3社から提出された純国産絹製品等の記事掲載の企画書の概要を紹介し、純国産絹製品等の啓蒙宣伝の一助となればと思います。

いずれの雑誌も本年の年末には発売されることとなりますが、これらキモノ雑誌も御覧頂きたいと紹介させていただきます。

1 (株)ハースト婦人画報社（雑誌「美しいキモノ」）

(1) 雑誌の名称等

「美しいキモノ」冬号（25.11.20 発売、掲載が 26 ページ）

(2) テーマ

「宝の絹 純国産絹の華麗なる伝承と次代への継承」

(3) 掲載記事の概要

ア 内容

日本を現在のように豊かな国へと導くために最大の貢献をした「純国産絹」は、明治以来この国の宝でした。また、「古事記」「日本書紀」の頃より宮中で蚕が大切に飼われてきたことが知られ、その貴い歴史は、平成の皇后様にも受け継がれ、養蚕・製糸に携

わる人々の精神的支柱であり誇りとなっています。この企画では、「伝統」と「復活・継承」を柱に、純国産絹の魅力を紹介。

イ 構成

- ① 第1章 伊勢神宮 壮麗なる御遷宮に用いられ伝統の衣装と素材について、写真とともに研究者の解説で紹介し、国内最大最古の儀式に用いられてきた優れた国産絹の価値を紹介。
- ② 第2章 富岡製糸場 世界遺産に推薦決定された「富岡製糸場」の偉容は、近代化にかけ明治政府の期待の大きさを教えて余りあるほど、製糸の模範工場としてその後全国に広がる蚕糸業の発展に大きな力となったことを紹介。
- ③ 第3章 奄美の養蚕の復活 奄美大島は、どなたもご存じの「大島紬」の郷、50年振りに養蚕を復活させ、奄美産の繭・生糸を使用した純奄美産の「大島紬」の取り組みを紹介。
- ④ 第4章 純国産絹製品等の紹介 純国産絹マークの許諾の状況等の紹介。

(4) その他

(株)ハースト婦人画報社では、上記の「美しいキモノ」の他にも、「婦人画報」1月号(25.12.1発売、掲載カラー2ページ)及び「25ans リシェス」(25.11.28発売、掲載カラー2ページ)予定しています。



「婦人画報の写真」(前年同月のもの)

2 (株)プレジデント社 (雑誌「七緒」)

(1) 雑誌の名称等

「七緒」VOL. 36 冬号 (25.12.7 発売、掲載カー 6ページ)

(2) テーマ

「日本の絹を支える人々」

(3) 掲載記事の概要

ア 内容

日本の開国当時において、外貨を稼げる産品であった生糸、日本の近代化の礎といっても過言ではありません。今日、我が国の養蚕・製糸業の主産地である群馬県内において座繰りを続ける職人、国産の絹糸を用いて純国産絹製品を製造する人々に藤田千恵子氏 (ライター・エッセイスト) が赴き、改めて国産繭・生糸の魅力を読者にアピールします。

イ 構成

- ① 群馬県前橋市の西尾さん (提携グループ「絹の会ぐんま 200プロジェクト」代表) を蚕糸・絹業提携グループ代表者として、日本の絹をより発展させるため創作きもの取り組みを紹介。
- ② 「上州座繰」を続ける 30 代の座繰職人の取り組みを紹介。
- ③ 自分で糸を引き、ショールなどをつくる高崎在住の岡田さんを紹介。



「七緒の表紙」(前号のもの)

3 (株)世界文化社 (雑誌「家庭画報」)

(1) 雑誌の名称等

「家庭画報」2014年1月号(25.12.1発売、掲載カラー6ページ)

(2) テーマ

「次世代に受け継ぎたい純国産絹の魅力 —重要文化財 結城紬—」

(3) 掲載記事の概要

ア 内容

純国産絹、日本の風土や衣装文化と深く結びついてきた絹文化が、衰退の危機にさらされている中、今一度、国産絹の持つ魅力に家庭画報が迫ります。

純国産の絹から生み出される商品の数々には、生みの源になる日本人の感性や養蚕・製糸業に携わる職人の確かな技術、長年の経験に基づいた揺るぎない信念などが結集され、「一流」の証となっています。純国産絹製品の生産に携わる職人の仕事に取り組む真の姿を通じて、“メイド・イン・ジャパン”の「継承」と「挑戦」を独自の視点で迫り紹介。

イ 構成

① 結城紬の生産地を訪ねて

ユネスコの重要文化財に登録され、古くからの技法を伝える結城紬。

手つむぎ糸や地機で織る伝統の職人技を写真と原稿で紹介します。

② 純国産絹の優れた特徴を生かした作品の着こなしの紹介

家庭画報でおなじみのモデルを使用し、純国産の絹で仕立て上げた結城紬の装いを商品の特徴とともに紹介します。

③ 純国産絹製品と純国産絹マークの許諾の状況等の紹介



「家庭画報の表紙」(2013年11月のもの)

平成 25 年度第 3 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの平成 25 年度第 3 次審査会を平成 25 年 9 月 26 日(木)に開催しました。今回、4 者(うち、使用許諾されている者の履歴の追加 5 品目、数量の追加 6 品目、計 11 品目)から申請があり、審査委員会で審査した結果、4 者に対し、10 月 4 日(金)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) 奄美島絹推進協議会 代表者名：南祐和 (担当者：南祐和) 鹿児島県大島郡龍郷町大勝 3213-1 Tel：0997-62-3888 表示者登録番号：178	先染反物 (大島紬)	4反	制作企画 日本蚕糸絹業開発協同組合 繭生産 熊本県、奄美大島 製 糸 碓氷製糸農協、(株) 夢おりの郷、 製 織 (株) みなみ紬 (株) 夢おりの郷
	先染反物 (大島紬)	7反	制作企画 日本蚕糸絹業開発協同組合 繭生産 熊本県、奄美大島 製 糸 碓氷製糸農協、(株) 夢おりの郷、 製 織 (株) みなみ紬 (株) みなみ紬
	先染帯地 (大島紬)	16本	制作企画 日本蚕糸絹業開発協同組合 繭生産 熊本県、奄美大島 製 糸 碓氷製糸農協、(株) 夢おりの郷、 製 織 (株) みなみ紬 (株) みなみ紬
	先染帯地 (大島紬)	4本	制作企画 日本蚕糸絹業開発協同組合 繭生産 熊本県、奄美大島 製 糸 碓氷製糸農協、(株) 夢おりの郷、 製 織 (株) みなみ紬 (株) 夢おりの郷
(数量・履歴の追加) 株式会社千總 代表者名：仲田保司 (担当者：俵武司) 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町 80 Tel：075-211-2531 表示者登録番号：001	(数量の追加) 後染反物 (訪問着・色無地)	130反	繭生産 福島県・山形県内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 河籐(株) 染 色 自社
	(数量の追加) 後染反物 (訪問着・色無地 ・付下)	150反	繭生産 福島県内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 小熊機業(有) 染 色 自社
	(数量の追加) 後染反物 (振袖)	110反	繭生産 福島県・山形県内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 (株) 松浦絹織 染 色 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)	
株式会社千總 (続き)	(数量の追加) 後染反物 (訪問着・留袖・小紋)	190反	繭生産 製糸 製織 染色	福島県・群馬県内養蚕農家 松岡 (株) 河籐 (株) 自社
	(履歴の追加) 後染反物 (色無地)	120反	繭生産 製糸 製織 染色	岩手県内養蚕農家 松岡 (株) (有) 田永織物 自社
(数量の追加) 株式会社布屋呉服店 代表者名：小長井宏員 (担当者：小長井宏員) 静岡県富士宮市西町5番21号 Tel：0544-27-2580 表示者登録番号：144	後染反物 (小紋(変一越))	20反	制作企画 繭生産 製糸 製織 染色	田中種 (株) JA につたみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 南久ちりめん (株) 高田勝 (株)
(数量の追加) 株式会社ナカノ 代表者名：中野剛至 (担当者：中野剛至) 大分県大分市大道町1-6-15 Tel：097-544-0308 表示者登録番号：147	後染反物 (小紋(変一越))	50反	制作企画 繭生産 製糸 製織 染色	田中種 (株) JA につたみどり管内養蚕農家 碓氷製糸農協 南久ちりめん (株) 高田勝 (株)

次回以降の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、審査会の10営業日前までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会（平成25年度第4次）：平成25年11月25日（月）

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締め切り日：平成25年11月11日（月）

年月日	活 動 内 容 等
25.9.5	中古養蚕資材のリサイクル事業打合せ（群馬県）
25.9.26	純国産絹マーク審査委員会（書面審査）
25.9.26 ~ 25.9.27	蚕種用資材供給打合せ（岐阜県及び愛知県）
25.10.10 ~ 25.10.11	シルク・サミット 2013 in 久米島（沖縄県）
25.10.11	蚕種業者打合せ（東京都有楽町 蚕糸会館）



ジャパンシルクセンターの純国産絹製品コーナー
(株式会社千總の振袖を展示)

平成 25 年度（第 52 回）農林水産祭

芦澤定弘さん（山梨県） 内閣総理大臣賞を受賞



芦澤定弘さん

財団法人 大日本蚕糸会

芦澤定弘さん（山梨県南巨摩郡富士川町）は、本年度農林水産祭中央審査委員会（会長 林良博氏）において、「蚕糸・地域特産」部門で「内閣総理大臣賞」を受賞されました。

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を高めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により実施されているものです。芦澤さんの経営に対し、天皇杯に次ぐ賞が贈られました。

芦澤さんは、「高度な技術に基づく優良繭生産と干し柿生産による周年労働体系の確立」による受賞です。芦澤さんの経営については、既報（2013.9月号 No.32）の通りですが、財団法人大日本蚕糸会が主催しました「第1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール」において農林水産大臣賞を受賞し、この出品財が農林水産祭中央審査会において、標記の賞を受賞しました。

再度芦澤さんの経営の特徴を述べると（1）「ナギナタガヤ」を畝間に植え、除草剤を使用しないで雑草防除を行うなど桑園管理を工夫して実施していること。（2）普通蚕品種に比べきめ細やかな飼育管理が要求される極細繭糸織度の特殊蚕品種「白麗（ハクレイ）」の飼育等「量から質への転換」を図っていること。（3）秋～冬期間の作物として「干し柿（ころ柿）」の生産を導入し、年間を通じた労力の平準化・周年労働体系を確立し、養蚕と二本柱の経営基盤としていること。（4）芦澤洋平さん（定弘さんの次男）が農業後継者として参画しているとともに、定弘さんは蚕の飼育期間にフィリピンから養蚕技術を学ぶ研修生を受け入れて指導するとともに、冬期間には、フィリピンを訪問し、現地での養蚕指導も毎年行っている。などその経営と活動に対し、大きな評価をいただいたものです。

なお、本年11月23日（勤労感謝の日）、東京都渋谷区の明治神宮会館において同賞の表彰式が行われます。

芦澤さんのこれからの活躍を祈念するとともに、受賞お祝いをいたします。

「シルク・サミット 2013 in 久米島」を開催して

独立行政法人 農業生物資源研究所

遺伝子組換えカイコ研究開発ユニット

上級研究員 中島 健一

はじめに

「シルクロード」とは一般的に、洛陽、長安などの中国の都市と、シリア、ローマなどの西方の諸地域とを結んだ中央アジア経由の陸上東西交通路と言われています。また、日本では摂津国の住吉津（現在の大阪市住吉区）が「シルクロードの日本の玄関」、飛鳥京や平城京は「シルクロードの東の終着点」と呼ばれています。

それでは、中国と日本の間はどうなっていたのでしょうか？中国と九州を結ぶ最も西のルートは、久米島を通り琉球王国を経て薩摩に至っていたと考えられています。また、久米島は琉球王国から、養蚕や紬作りを割り当てられていたとも言われています。今年のシルク・サミットはその久米島町で10月10～11日の2日間、初めて本州を離れた場所で開催されました。久米島町は久米島紬で有名ですが、その特徴は、技術が琉球王国時代以来の伝統を保っており、模様選定・染付け・織りの工程を一人で行い（一部の工程では分業も行われる）、原料の糸の一部は島内で生産され、染料は全て島内自生のサルトリイバラ（ゲール）



会場の様子

などを使い、泥染めなども島内で行っていることです。また、その製作技術は国の重要無形文化財に指定されています。

開催内容

当日は約160名の参加者があり、一日目は基調講演が1課題、特別講演が3課題、事例発表が3件ありました。また、二日目は島内の名所旧跡の見学会がありました。

一日目の内容は、まず基調講演として上江洲 均さん（久米島博物館名誉館長）から「久米島紬の歴史」と題して、久米島の歴史と、それに養蚕や紬製法がどのように関わってきたかについての話がありまし

た。昔、堂之丸比屋という偉い人が居て、中国との交易や、養蚕・真綿を挽く技術を習得したり、航海・天文・気象などの研究を行った功労者で、久米島の発展に大きく寄与したということです。また、文献によれば1450年頃は10戸に1戸位の養蚕農家があり、1630～1660年の間に久米島紬が確立されたのではないかとのことです。この久米島紬の確立に大きく貢献した坂元普基や友寄景友の功績についても、当時の指導内容についての紹介がありました。さらに、1735年頃の久米島紬の取り扱いについて、「役人の妻は貢納布づくりは免除」、「仕事に出てきた女は、星帳（出勤簿）を用意しておき、毎日印鑑を押させること」など、当時の詳しい内容についての紹介がありました。



基調講演（上江洲博物館名誉館長）

次に、特別講演が3課題あり、1課題目は宮尾澄生さん（沖縄県南部農業改良普及センター主任技師）から「復帰後の八重山における養蚕について」と題して、主に本土復帰（昭和47年）後の養蚕について、農家の人がどのように取り組んできたのか



特別講演（宮尾農業改良普及センター主任技師）

についての話がありました。八重山における養蚕の特徴は、桑についてはまず桑苗作りに特徴があり、本土のように接木法ではなく、実生法で十分ではあるが、新たに環状剥離や緊縛処理を開発したことや、成園になっても台風、タイワンキジラミや赤渋病などの病害虫に悩まされた苦労話がありました。また、飼育については主に壮蚕飼育について、台風対策や通風を考えた飼育方法の紹介や、繰糸成績の特徴についての説明がありました。

さらに、昭和59年頃に久米島で実際に行っていた養蚕や、平成13年頃の桑苗生産について、写真を交えて紹介して頂きました。統計上は平成12年に八重山での養蚕は幕を閉じましたが、現在では久米島町や浦添市で養蚕が再開されているため、これまで培われてきた養蚕技術を継承し、新たにコスト計算の検討を含めた技術革新が必要であるとの提言がありました。

2課題目は飯塚哲也さん（農業生物資源研究所主任研究員）から「遺伝子組換えカイコとその産業利用」と題して、糸の太さ

が違うカイコや、セリシン蚕や琉球多蚕繭などの特徴あるカイコの話、従来の遺伝資源を用いた育種と遺伝子組換え技術を用いた育種についての話、組換えカイコの作り方などの遺伝子組換えカイコの話がありました。遺伝子組換えカイコの産業利用については、主にシルクとしての利用について取り上げ、蛍光タンパク質の種類やこれまでの試作品などの紹介とともに、今後の実用化の方向についての話がありました。現在は遺伝子組換えから一步進めたゲノム編集技術が実用化されつつあり、カイコについては遺伝子破壊が成功していて、この技術を更に進めることにより、画期的なシルクが生み出されるかもしれないという夢が示されました。



特別講演（飯塚農生研主任研究員）

3 課題目は與那嶺一子さん（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）から「琉球紅型のいろとかたち」と題して、紅型とはいつから、どこから、誰のために、どのように使われたかについての話がありました。「紅」は「多色」の意で、文献によ

れば 1600 年代には原型があり、実際には 1925 年に紅型が定まったと思われ、作品からは 1700 年代には完成していたと思われるとのことでした。また、紅型の色については、色の移り変わり、色材の移り変わり、彩色の工夫についての話があり、かたちについては、大きさ、型紙の種類、一型置きや模様作りの工夫などについて、写真を交えて詳しい紹介がありました。



特別講演（県博物館・美術館與那嶺主任学芸員）

その後、3 団体の方から活動事例報告がありました。まず久米島町立清水小学校 5 年生の皆さん（担任：我那覇真澄先生）から、「ふるさと再発見－久米島紬学習を通して－」と題して、総合的学習の時間の中で取り組んだ内容の発表がありました。ふるさと学習のテーマに「久米島紬ができるまで」を選び、オリエンテーション、実際のカイコ飼育、糸とり・真綿づくり、ミサンガづくりを行い、体験を終えての感想や学習をまとめた壁新聞づくりを行ったことの紹介を、元気よく行ってくれました。一連の学習により、久米島紬を身近に感じる喜びや、



事例発表（清水小学校 5年生の皆さん）

課題に向かう姿勢が身についたという感想を述べられていました。

次は、山城宗太郎さん（久米島紬保持団体代表）から、「久米島紬保持団体の活動」と題して、久米島紬保持団体設立の経緯の紹介と、伝承事業の始まりと主な活動について報告がありました。平成8年に文化庁伝統文化総合支援事業が始まり、その後行ってきた数々の活動について紹介がありました。結果として、平成16年に国の重要無形文化財に指定されたことにより、益々活動が活発になり、将来はより多くの人々が久米島紬製作に携わることを目指し、他の団体とも連携を図りながら技術・技法の伝承と、更に積極的な活動を行って行きたいとの意気込みを語られました。

最後に、松元 徹さん（久米島紬事業協同組合理事長）から、「後継者育成事業報告」と題して、久米島紬事業協同組合が行っている後継者育成事業の詳細についての報告がありました。現在は、1年間4反の着尺を実習形式で制作することにより研修を行

っているとのこと。具体的には、6月の糸作りから始まり、翌年の3月まで種々の実習を重ねて反物を完成させるというものです。事業の成果としては、20～80歳代の婦女子110名以上の方の重要な職業で、久米島紬で得る収入は家族の生活を支える貴重な収入源となっており、地域の経済波及効果に大きく寄与していると、熱く語られていました。

夜の懇親会では、久米島町のご厚意で提供して頂いた、地元特産の車エビ、海ぶどうなどの沖縄料理をつまみに、これも特産の泡盛を海洋深層水で割り、沖縄民謡をバックにカチャーシーを踊り、大いに親交を深めることができました。

二日目は、久米島町の名所旧跡を巡る見学会がありました。「久米島博物館」では島の地形の特徴や、久米島紬の原料となる植物や鉱石の説明がありました。また、生息している動植物や島の歴史について勉強させて頂きました。次に、代々地頭代を務めた旧家の「上江洲家」では、1754年に

建築されたという屋敷を見学しました。屋敷の周囲は立派な石塀で囲まれ、中には主屋、台所、豚舎と便所、蔵、上便所、井戸などがあり、沖縄らしい立派な住居です。また、随所に風水に基づいた置き石があり、中国の影響を受けていることが推察されました。次の「具志川城跡」は、修復中ということもあり中には入れませんでした。三方が断崖となっていて、城の中は四つの曲輪からなり、それぞれの曲輪は琉球石灰岩の石垣によって区画されているという、立派な「のづら積み」の城壁に特徴のある城跡でした。中からは中国の元や明代の通貨や青磁片、海外からの輸入陶磁器などが見つかっていて、盛んに南方貿易をしてい

たことがうかがえるとのこと。今回、一番楽しみにしていた「久米島の久米仙」では、泡盛の製造工程を見学し、試飲と併せてお土産を調達させて頂きました。最後に、養蚕から織物作りまでを行っている「久米島紬の里ユイマール館」では、各工程を見せて頂くとともに、久米島紬の製品などを拝見させて頂きました。

おわりに

来年のシルク・サミットは、世界遺産の登録を目指している富岡市で4月、博物館のリニューアルオープンを進めている岡谷市で11月の、2回開催する予定です。今年にも増して大勢の方のご参加をお待ちしています。



余興での三線演奏



旧家の上江洲家

新たに機能性を付加したユニット型座繰機を完成

財団法人 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
所長 清水 重人

蚕糸科学研究所では、各種のイベントにおける糸繰り実演への協力に対応すべく、分解可能かつ機能性を付加した「ユニット型座繰機」を導入しましたのでご紹介いたします。

当所では、各種繰糸機による多様な生糸づくりに関して、設備と技術面での充実化を図っていますが、その一環として諏訪式座繰機の導入について検討してきました。最近、蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会主催による宝絹展が各地で開催されるようになり、当所としても1粒繰り等の実演において参加協力しています。座繰りの実演については、市立岡谷蚕糸博物館のご協力により諏訪式座繰機を搬入して行われてきましたが、大きくて重く、輸送コストがかさむとともに輸送時の機器損傷等の問題がありました。

そこで、当所では、所内はもとより外部でのイベント実演用の両方の用途に適応できるような仕様の座繰機について検討しました。座繰機の作製には、(株)宮坂製糸所及び市立岡谷蚕糸博物館のアドバイスをいただき、(有)ハラダに製作をお願いしました。また、市立岡谷蚕糸博物館の林久美子学芸

員に細かくチェックをしていただき使い勝手のよいユニット型の座繰機が完成しました(図1)。

さっそく、札幌三越での宝絹展1)で座繰りの実演に活用しましたが、糸繰りの初心者でも簡単に機械を扱えることができるとともに容易に楽しく生糸づくりができるとの評価を得ました。そこで、イベント実演目的で作ったものの、手軽に糸とりができる工房型実用繰糸機としての機能も備えていることから、本座繰機の特長及び実演の様子について概要を紹介致します。



図1 完成したユニット型座繰機

◆モデルは諏訪式座繰機◆

目標とする座繰機のモデルとしては、市立岡谷蚕糸博物館所蔵の明治15年頃稼働していたとされる諏訪式座繰機(図2)を選定し、極力その外観を復元することを目標としました。しかし、各イベント開催地へ送ることを考えると、輸送コストの面からトラック便に対応したサイズに分解可能なユニット型にする必要があります。その場合、分解組立て時に必要な接続部分の強度を考慮すると、木材では条件を満たすことが難しいことから、アルミ角材を用いることにしました(尙ハラダ)。そのため、外観は古くささとはかけ離れた現代式の外観となりましたが、後述するように、稲妻式ケンネルや鼓車、繰糸鍋等の寸法等についてはその機能を組込んでいます。さらに、座繰機に不慣れな初心者でも短時間で扱えることを考慮しました。



図2 市立岡谷蚕糸博物館所蔵の諏訪式座繰機

◆速度可変型電動モーター◆

小枠駆動は、足踏み式ではなく速度可変型の電動モーターとしました。無段変速の調整つまみとフットスイッチ及び手動スイッチにより小枠回転をコントロールできますので、緒出しや粒付け管理等の作業に余裕ができます。

◆接緒器オプション◆

オプションで接緒器をユニットとしてワンタッチで取り付けできるようにしました。小型モーターによる簡易な装置で回転は一定になっています。煮繭と緒出しされた正緒繭があれば初心者でもすぐに糸繰りはできるようになります。

◆繰糸鍋◆

鍋は市販のIH用ステンレス製で、諏訪式座繰機と同寸の直径30cm、深さ10cmのものをを選び、黒色に焼付け塗装をし、糸が見えやすいようにしました(尙ハラダ)(図3)。熱源も市販のIHヒーターを据え付け、熱効率の向上と省エネ化を図っています。



図3 黒く焼付塗装したステンレス製IH鍋と仕切板

◆ 3つの「通い箱」に収納◆

輸送時は、次の3つのユニットに分解します。①小枠駆動部とその台座（4本の骨格が着脱式になっており、上方に引き抜いて分離します）、②繰糸装置とその台座（①と同様の着脱式）及び椅子、③ケンネル装置及びその他の部品。この3個を専用の通い箱に収納し、蓋は蝶ネジで固定します（図4）。

なお、本座繰機は輸送用にユニット型としましたが、通常使用では一体型で問題なく価格も安くなるものと思われます。



図4 ユニット型座繰機運搬用の「通い箱」

◆ 稲妻式ケンネル◆

ケンネルよりは、粒付けからの繭糸束を2つの鼓車を介して戻し、自走する糸に絡めて、糸の抱合性を高める重要な役割をもっており、シンプルですがその効果は大きく生糸づくりには欠かせない工程の一つです。諏訪式座繰機のケンネルよりは稲妻式と呼ばれています。稲妻の名称の由来は、ケンネルのより掛けの部分が繰糸張力の変化があるとそれに応じて上下運動します

が、この動きが雷の稲妻に似ているところからきているとのこと（2）、3）、4）。

より掛けを構成する鼓車間の距離及び上下で走行する糸同士のなす角度により、繰糸張力の増減及び糸走行のトラブル発生に大きく影響します。そこで、稲妻式ケンネルでは、試行錯誤の上、張力及び糸故障の低減を図る上で最も適正な台形状の装置を作りあげたとのこと。そして、この仕組みが理論的にも張力、糸故障が少なく、能率向上に大きく寄与しているという証明がされています（5）、6）、7）、8）。

諏訪式座繰機の稲妻式ケンネルの側面図と本座繰機の側面写真の比較を図5に示します。

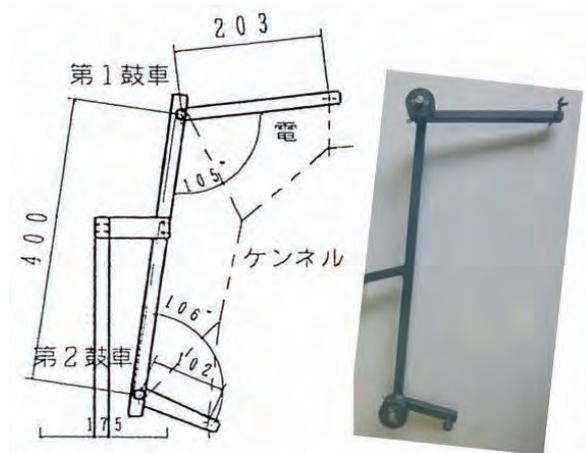


図5 稲妻式ケンネルの諏訪式座繰機の側面図（岡谷蚕糸博物館紀要）とユニット型座繰機の側面写真の比較

◆ 鼓車◆

稲妻式ケンネルに装着されている鼓車は、繰糸張力を極力減少させるため、可能な限り小型軽量化し、回転抵抗を少なくした独自の鼓車を開発したとのこと。本

座繰機では、小型ベアリングを採用し、抵抗がほとんど無く回転がスムーズになるように特別誂えの鼓車を使用しています（尙ハラダ）（図6）。

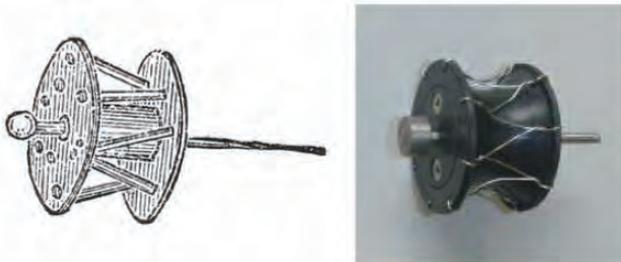


図6 誂訪式座繰機（岡谷蚕糸博物館紀要）とユニット型座繰機の鼓車の比較

◆宝絹展での実演◆

8月20日～25日にかけて、札幌三越において宝絹展が開催されました。当所としては1粒繰りとユニット型座繰機による実演に協力しました。

座繰りの実演は、市立岡谷蚕糸博物館の林久美子学芸員が着物姿で行い（図7）、来場者の注目を集めていました。ちなみに林学芸員は接緒器オプションを付けることなく、投げ込み接緒で実演を行っていました。



図7 実演中の市立岡谷蚕糸博物館の林久美子学芸員

札幌三越で宝絹展では、生糸がどのようにして作られるのか、また繭から糸がどのようにして繰られるのか、という糸繰りそのものの仕組みに興味を持ち、質問される方が大勢でした（図8）。というのは、道内では養蚕・製糸の現場がなくなって久しいということも背景としてあるようです。そのため、生糸づくりにおける、繭糸の付け足しの瞬間とケネルよりの仕組み及びそのもつ重要な役割について丁寧に説明しました。その点、座繰機は糸道の機構がシンプルなので説明するのには適しているといえます。

林学芸員が実演期間を終了して帰った後は、北海道開拓の村の方々が交代で実演の応援をして下さいました（図9）。実質繰糸機での糸繰りは初めてとのことでしたが、接緒器を取付け、糸繋ぎと糸道の説明を受けると直ぐに糸繰りに慣れて、来場者の対応をされていました。開拓の村の皆さんからは使いやすい繰糸機です、とのコメントをいただきました。



図8 質問される来場者

◆おわりに◆

この度、各地での繰糸実演イベントに対応すべく、ユニット型座繰機を導入しました。そして実際にイベントで使用してみると、使いやすく糸道上のトラブルも少なく簡単にかつ楽しく糸繰りができ、工房型・小型実用繰糸機として活用できることがわかりました。また、諏訪式座繰機はシンプルではありますが、稲妻式ケンネルのより掛けの構造一つをみても、その機能と仕組みに対する当時の工夫の積み重ねと座繰機への入れ込みの深さ・重さに驚きを感じました。

今後も本ユニット型座繰器を活用し、各地での繰糸実演イベントに参加することで、一人でも多くの消費者に繭や生糸作りに関心を持っていただくと共に、純国産シルクファンの増加に繋がればと願っています。

◆参考文献◆

- 1) シルクレポート (2013)、蚕糸・絹業提携グループ全国協議会、多くの参加者を得て札幌三越「純国産宝絹 (takaraginu) 展」を開催、No.32、27-30
- 2) 瀬木秀保 (1997)：価値工学からみた「諏訪式繰糸器械」に関する一考察—現代に生きる中山社のエンジニアリング—、岡谷蚕糸博物館紀要第 2 号、21-30
- 3) 小口雄勇 (2000)：フランス式繰糸機の復元—糸みちの構造について—、岡谷蚕糸博物館紀要第 5 号、83-93
- 4) 鮎沢諭志：2008、市立岡谷蚕糸博物館展示の 2 条繰り諏訪式繰糸機—設計図と技術上の位置—岡谷蚕糸博物館紀要第 13 号、68-83
- 5) 嶋崎昭典 (2009)：なぜ岡谷に製糸が栄えたか—諏訪式繰糸法を中心にして—、岡谷蚕糸博物館紀要 (14)、54-55
- 6) 鮎沢諭志・森川英明 (2009)：諏訪式繰糸機の特徴—イナズマ式ケンネル—、岡谷蚕糸博物館紀要 (14)、56-67
- 7) 白倫・森川英明 (2009)：諏訪式繰糸の稲妻式ケンネルを巡るより掛け特性の解析、岡谷蚕糸博物館紀要 (14)、68-77
- 8) 森川英明・白倫 (2009)：座繰における糸道経路の機能—諏訪式繰糸の工学的検証—、岡谷蚕糸博物館紀要 (14)、78-88



図 9 繰糸実演協力の北海道開拓の村の皆さん

「日本絹の里」の新たな取り組み (シルク学習の場として小学生を積極的に受け入れ)

公益財団法人 群馬県蚕糸振興協会

町田 順一

日本絹の里の常設展示や企画展示では、養蚕、製糸、織物の歴史・技術及び関連の実物・模型などの展示を行い学習の場として活用できます。

また、絹に親しんでいただくことから染めや織りなどの体験を実施すると共に、養蚕への理解と生きものを大切にする心を養うための飼育体験教室も開催しています。

群馬県では富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録に向けた運動を展開しています。この富岡製糸場と絹産業遺産群は歴史的・文化的な価値が非常に高いので、その情報発信にも努めています。

一方で、桑園や養蚕農家・製糸会社の減少によって蚕糸業が衰退し、身近にカイコに触れることや蚕糸業を認識・理解することが希薄なっています。

そこで、学校行事に当館を活用してカイコの育ち方、育て方の理解と蚕糸絹業の歴史的、文化的な価値を学習支援するために、昨年度から積極的に学校行事に当館を利用していただく取り組みを進めています。その手法として、小学校の理科、社会科目及

び総合学習に活用できるような新たなカリキュラムの時間割、学習内容を作成して、各市の教育委員会を通じて、地域の小学校を中心に入館を呼びかけておりますので、その取り組み概要を紹介します。

カリキュラムの時間割と学習内容

カリキュラムの時間割及び学習内容は、小学校の理科、社会及び総合学習の学習指導要領に該当するようなカリキュラムの素案を作成し、その素案を地域の教育委員会、学校実務者等に、ご指導・ご助言をいただき、カリキュラムを作成しました。

作成したカリキュラムは次のとおりです。

① [理科] 小学3年生向け

所要時間	学習内容
------	------

35分	カイコの育ち方（昆虫の理解） 繭糸の使われ方
-----	---------------------------

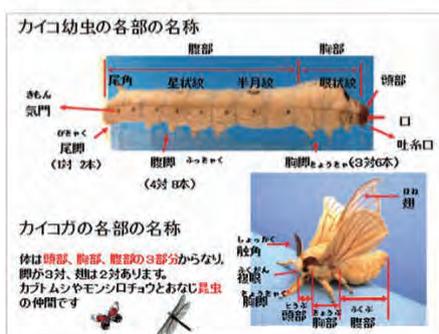
15分	ビデオ上映「カイコの一生」
-----	---------------

40分	展示館見学
-----	-------

*追加カリキュラム「世界遺産登録について」、ビデオ上映「めざせ世界遺産」



「絹の里」近隣の桑園見学



カイコの育ち方と各部の名称

- ② [社会] 小学校5, 6年向け
- 所要時間 学習内容
- 35分 日本の養蚕や絹産業について
 - 30分 ビデオ上映「めざせ世界遺産」
 - 40分 展示場見学 (絹遺産の模型)



カイコの育て方講義 (実物カイコ・スライド使用)



絹産業遺産群の講義風景



展示場の解説状況



富岡製糸場模型



風穴の模型（蚕種の天然の冷蔵庫）

③ [総合学習] 小学校3～6年

所要時間 学習内容

60分 染色・繭クラフト・手織り・座
繰り体験等（繭、絹に親しむ）

30分 常設展示見学（カイコ、絹織物）

30分 企画展示見学



織り体験（コースター作り）



繭クラフト体験（ウサギ作り）



染色体験（絞り染め）と作品

盛況な出前講座

一方、入館したいが学校からの交通手段の確保が難しいなどの事情から、学校に向いて、出前講義や体験を行って欲しいとの要望が増えている状況があります。出前講座の要望としては、学校でカイコを育てて繭にしたので繭から糸を取る座繰り体験を希望する声が多くあります。

また、座繰り体験の外にカイコの育ちかたや糸の使われ方のお話、さらに、富岡製糸場と絹産業遺産群の内容にも触れた講義も行っています。



出前講座の座繰り体験（糸口どこかな）



出前講座後日にもたれた発表会風景



座繰り体験風景



出前講座の講義風景

出前講座は以外に好評で、複数年、希望される学校がありますし、出前講座後も独自で、カイコのことや座繰りについての発表会がもたれるなど学習効果を高めています。

出前講座を通じて、絹の里への入館者の確保に繋がればと、講座の最後には日本絹の里の入館を促すためにPRをさせていただいて家族での入館を呼びかけています。

以上、今回は学校行事に当館の活用を積極的に進めている新たな取り組みについて紹介しました。今回紹介した内容以外にも小学校の支援としては、カイコの飼育を希望する学校にはカイコ幼虫や人工飼料の配布を行っています。また、その際にはカイコの育て方などの技術相談にもお応えしています。養蚕が身近に見られないこともあり、このような対応が増えている状況もあります。

日本絹の里は今後も小学校はもとより、それ以外の教育機関、地域の生涯学習の場として、利用しやすく、楽しく学習できる館をめざしています。

平成 26 年 1 月に「宝絹 (takaraginu) 展」を 新宿伊勢丹と横浜高島屋で開催

蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

平成 25 年 1 月に「銀座三越」、8 月に「札幌三越」で宝絹展を展開し、各提携グループ等にご協力いただき純国産絹の素晴らしさ、良さを多くの消費者の皆様に PR できたと思います。ここでは、映像をはじめ実演、ワークショップによる宝絹ができるまでと蚕と繭による日本の文化と技術を紹介しました。

今回は平成 26 年 1 月に集中しますが、大きな展示会を新宿伊勢丹と横浜高島屋の 2 か所で行います。前回同様皆様のご協力を宜しくお願いします。



新宿伊勢丹

I 新宿伊勢丹での展示会

名称 純国産宝絹 (takarakginu) 展
会期 平成 26 年 1 月 2 日(木)～7 日(火)
会場 新宿「伊勢丹」 1 階「ステージ」
及び 7 階呉服売場

展示会開催の趣旨

今回は、1 月に 2 か所の展示会の開催予定があり、まして伊勢丹終了後の翌日 8 日から横浜高島屋が始まるため伊勢丹は今迄と違った展開を予定しています。

新宿伊勢丹の特徴はロケーションがよく来店客数が非常に多く、又、若い感性の高い顧客が多い店舗です。絹をライフスタイルの中に取り入れる和雑貨と新しい和のスタイルを提案し未来の可能性を求める純国産「宝絹」展を展開したいと思います。

展開の内容

日本の蚕糸・絹業の現状を伝える「今」と、ファッションディレクターとこれからの絹製品のあり方を見せる「未来」を展開。

「今」

- ・蚕の成長と世界に誇る日本の繭の展示。
- ・日本の文化技術の紹介。

結城紬地機の製織、江戸組紐の実演

「未来」〈日本の伝統技術と新感性クリエイター〉

伊勢丹本店 1 階展示会場「ステージ」で展開される日本の染と織＋クリエイター「IKESHOKU 展」に携わるファッションディレクター「山口壮大」氏に純国産「宝絹 takaraginu」展のディレクションを依頼。デザインと技法が効果的に引き立つ展示方法の取り入れ、ファッションデザイナーに



横浜高島屋

よる若い感性に響くデザイン製品の製作紹介を行います。

また、1階ステージでは純国産絹のポップ展示も行います。

宣伝媒体としては、B2ポスター（200部）、B5見開きリーフレット（5,000部）、DMはがき（10,000部）等を予定。

II 横浜高島屋での展示会

名称 純国産宝絹（takarakginu）展
会期 平成26年1月8日(水)～12日(日)
会場 横浜高島屋 8階催会場

開催の趣旨

横浜高島屋では、開港以来昭和の初めまで日本の主たる貿易輸出品であった生糸の集積港であった横浜で、日本の絹づくりの過去・現在に対する理解を深め、絹にまつわる産業および日本の絹文化の未来を見据える機会を消費者に広く提供します。

開催に当たっては、絹にかかわり深いシルクの町・横浜の施設と協同をはかりながら、PR・宣伝効果が大きい期待できる横浜高島屋において展示会を開催します。

展開の内容

- ・映像上映 純国産絹「宝絹」
〈奇跡の糸ができるまで。ナレーション付〉
- ・蚕、繭の紹介
〈蚕1齢3齢5齢、世界に誇る繭の展示〉
- ・提携56グループ製品展示
- ・特別展示「シルクの街横浜の過去・現在・未来」
〈シルク博物館、大日本蚕糸会の協力による資料展示を行います。写真パネル、シルクロード古地図他。〉
- ・ワークショップ実演
〈紅花染め、組紐、座繰り他〉
- ・ワークショップ参加型
〈シルクブレスレット、繭クラフト、ハンカチ染め、一粒繰り〉

横浜高島屋では、同会場で高島屋「振袖フェスティバル」を開催します。高島屋振袖ブランド「誰が袖好み」があり、この商品は純国産絹が使用されています。

また、横浜高島屋として純国産絹販売コーナーを展開する予定としております。

宣伝媒体としては、B2ポスター（200部）、B5見開きリーフレット（5,000部）、DMはがき（10,000部）、雑誌「美しいキモノ」「家庭画報」「七緒」に予告記事掲載を予定、その他新聞折り込み、店内ポスターを検討中です。

平成25年度は前年度に比べ連絡協議会主催の展示会が1回から3回に増えます。

1月ほぼ同時期に二催事連続で行います。それぞれが特色ある展示となるよう努力していくこととしております。皆様のご協力を宜しくお願いします。

シルク遺産を訪ねて⑫

「絹の道資料館」と「絹の道」

東京産業考古学会

副会長 平井 東幸

八王子市のシルク遺産として見逃せないのが、前回紹介した八王子郷土資料館のほかに、「絹の道資料館」と「絹の道」がある。前者は平成2年にオープンした市の展示・休憩施設であり、後者は文化庁「歴史の道百選」にも選定されている。

この資料館は（写真1、マップ上の①、以下同じ）、地元鑓水の生糸商として財を成した八木下要右衛門の屋敷跡に建てられ、休憩所も兼ねていて、「絹の道」の散策前後に利用するのも便利。昭和62年の敷地の発掘調査を経て屋敷跡と石積み水路が復元保存されているほか、道路に面した石垣には当時の石材が一部利用されているなど往時をしのぶことができる。

鉄筋コンクリート1階建ての建物は天井

が高く内部は裕福な民家を模している。館内には、パネルによって横浜開港以来およそ半世紀にわたって繁栄した鑓水の生糸商人の活躍振りと「絹の道」の説明、そして養蚕・製糸に関する資料が展示されている。

次に、「絹の道」であるが、全長およそ1.5キロで八王子市の史跡に指定されている。このうち、当時の面影を見事に残す約1キロは文化庁の「歴史の道百選」に選定されている。この部分は資料館の直ぐ傍の分岐点（案内板②がある）から始まり、上り坂が暫く続き、大塚山公園③までである（写真2）。散策には新緑の季節が一番のお薦めの由。

「絹の道」とは、安政6年の横浜開港から鉄道が開通する明治の中期まで輸出用の生糸が運ばれたルートであった。周知のよ



写真1 「絹の道資料館」の正面



写真2 「絹の道」

うに八王子は関東有数の産地であったし、この道を利用して、多摩地区のみならず群馬、埼玉、長野、山梨から生糸が横浜に陸送されたのである。そしてこのルートを経て西洋の文物が、キリスト教までが伝えられたのであった。

かつては「浜街道」「浜道」と呼ばれており八王子から横浜までを結ぶ街道であった。鉄道網、道路網の整備と都市化の進展で忘れ去られていたのが、昭和26年頃に地元の地方文化運動を進めた橋本義夫氏によって再認識され、「絹の道」と命名された由。以来、昭和32年には有志により「絹の道」の石碑④が大塚山公園の階段下に建てられた。階段を上ったところに道了堂跡⑤や海拔213メートルの三角点⑥がある。

近隣には、図に示すように都の有形民俗文化財の小泉家屋敷⑦、八木下家の母屋を移築して本堂にしている永泉寺⑧などが点在しており、散策をお勧めしたい。

都市開発が続くなかで、このような歴史的な街道景観が当時のまま残されているのは、まことに意義深く、うれしいことである。なお、この「絹の道」については、

東京都教育委員会の調査報告書『浜街道』（1996）が詳しい。

終わりに、今回も資料提供等ご高配をいただいた八王子市郷土資料館学芸員の中村明美氏に感謝致します。

■絹の道資料館

休館日：月曜日（祝日を除く）

月曜が祝日の場合は翌日

年末年始（12月29日～1月3日）

開館時間：午前9時～午後5時（3月～10月）

午前9時～4時半（11月～2月）

所在地：東京都八王子市鎌水 989-2

Tel：042-676-4064

アクセス：JR 横浜線「橋本駅」下車

多摩美術大学經由「南大沢駅」行きバス、

または京王線「南大沢駅」下車

多摩美術大学經由「橋本駅」行きバスで、

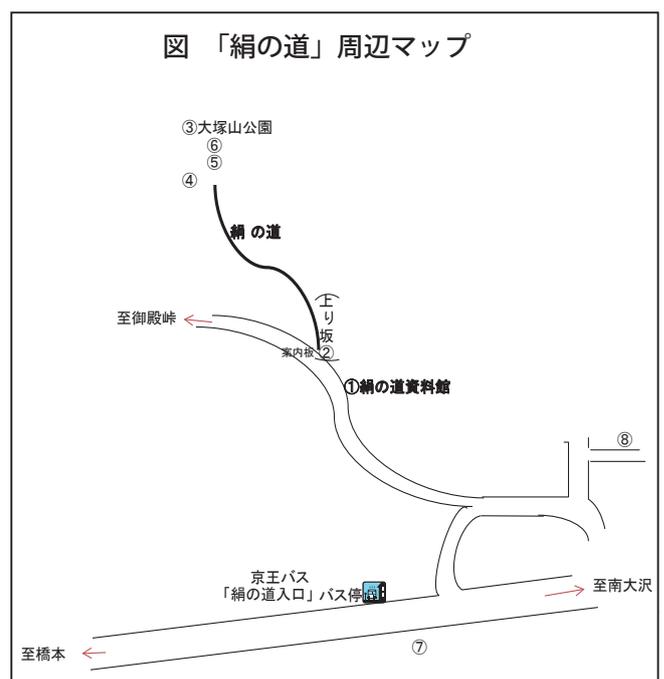
「絹の道入口」下車徒歩 10分

入館料：無料

問合せ先：八王子市教育委員会

生涯学習スポーツ部文化財課

Tel：042-620-7265



イベント情報

(財)大日本蚕糸会・ジャパンシルクセンターからのお知らせ

イベント名	企画・展示内容	開催日 (期間)	場所・主催者等
純国産絹製品の紹介	(結城紬の着尺と帯) 出展者は茨城県結城市の(株)小倉商店で、結城紬の老舗問屋。同社は10年間の歳月をかけて結城紬に適した蚕品種が「朝・日×東・海」であることを見出し、これで織り上げた結城紬にはしっとりとした織り上がりの手触りから感じる質量感があります。	・会期 平成25年11月11日(月)~27日(水) ・開催時間 10:00~18:00	主催:ジャパンシルクセンター 会場:ジャパンシルクセンター(純国産絹製品コーナー) 東京 有楽町蚕糸会館 1F
	(色無地(松岡姫、又昔)) 出展者は京都の(株)伊と幸で、老舗の白生地問屋。この着尺に用いている蚕品種は、「松岡姫」及び「上州絹星」で繭糸織度が細く、繭糸長が長い蚕品種です。これを製糸会社でていねいに繰製した生糸で織り上げて色無地にしました。	・会期 平成25年12月9日(月)~25日(水) ・開催時間 10:00~18:00	Tel.03-3215-1212
第52回農林水産祭「実りのフェスティバル」	ジャパンシルクセンターでは、パネルで「養蚕、製糸、製織、染色加工まで純国産絹製品のできるまでを解説紹介」する他、蚕の飼育、上州座繰りの実演、世界遺産候補の富岡製糸場の紹介を予定しております。 入場無料	・会期 平成25年11月8日(金)~11月9日(土) ・開催時間 10:00~16:00	主催:公益財団法人日本農林漁業振興会 会場:明治公園霞ヶ丘広場 最寄り駅:JR千駄ヶ谷駅、都営大江戸線国立競技場駅、地下鉄銀座線外苑前駅
第25回絹まつり 冬のセール	ジャパンシルクセンターが行うモニター展示販売する年2回の冬のイベントです。コンセプトは、「デイリースルク(絹を日常に!)」であり、冬向きのブラウス、肌着、スカーフ、ストール、ソックス、石鹸などを提供します。	・日時 平成25年12月2日(月)~5日(木)10:00~18:30 最終日は17:00まで	主催:会場:ジャパンシルクセンター 東京 有楽町蚕糸会館 1F Tel.03-3215-1212

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
第64回特別展 「世界につながる日本のシルクロード～群馬のシルクと横浜港～」	横浜開港により貿易が始まると生糸が主要な輸出品となり群馬からも大量の生糸が水運や鉄道によって横浜港へと運送されました。横浜での生糸貿易と関連させながら世界遺産候補の富岡製糸場と絹産業遺産群を紹介します。	・会期 平成25年11月9日(土)～12月9日(月) 休館日:火曜日 入館料 一般200円 高・大学生100円 中学生以下無料 *団体割引有り	・主催:群馬県立日本絹の里 ・会場 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 TEL027-360-6300
第28回企画展 「創作人形～ちりめんを楽しむ～」	ちりめんの古裂等を使い、昔の日常生活をモチーフにした人形を制作している人形作家・竹本京氏の作品を中心に展示します。	・会期 平成25年12月14日(土)～2月23日(日) 休館日:火曜日、 年末年始(12/27～1/5) 入館料 一般400円 高・大学生250円 中学生以下無料 *団体割引有り	・主催:群馬県立日本絹の里 ・会場 日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 TEL027-360-6300
秋特別展 「美しい日本の絹 友禪」	日本の各地には様々な絹染織産地の産地があり、様々な絹製品が生産されてきました。しかし、近年は日本の伝統衣装「きもの」を着る機会は減り、各地の絹織物業、染色業にとって厳しい現状が続いています。この度シルク博物館では、所蔵作品を中心に友禪染の名作を選び、友禪についてわかりやすく紹介する展覧会を企画しました。この展覧会は同時に、関東地方在住の友禪作家の協力を得て、近年の作品を一堂に介しています。本展では多くの方々に友禪の美を堪能していただくとともに、日本の伝統衣装「きもの」に親しんでいただき、これからの絹の需要増進に寄与することを目的とします。	・会期 平成25年10月1日(火)～11月24日(日) 休館日:月曜日 (但し11月4日開館、同5日休館) 開館時間 午前9時～午後4時半 (入館は4時まで) 入館料 一般700円 (65才以上)300円 高・大学生200円 小・中学生100円 *団体割引有り	・主催:シルク博物館 ・後援:神奈川県/横浜市文化観光局/神奈川新聞社/NHK横浜放送局等 ・協力:公益社団法人日本工芸会東日本支部の正会員10名の作家 ・会場 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター2階 TEL045-641-0841

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧

平成 25 年 10 月 4 日現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物 (振袖、訪問着、付下、色無地、黒留袖、喪服)、 胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物 (色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物 (色無地)、胴裏 (灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物 (色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物 (色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物 (色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物 (色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物 (大島紬、結城 紬、御召、作家作品)、先染帯地 (織九寸帯、織角帯、作家 作品)、白生地、和装小物 (帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物 (株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物 (色無地、黒紋付)
016	(株) 絹回廊	東京都中央区	後染反物 (色無地)
017	(有) 琴路屋	岩手県釜石市	後染反物 (色無地、黒紋付)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
019	丸善本店	福島県いわき市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物 (色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢 (株))	群馬県高崎市	裏地 (胴裏 (ぐんま羽二重、ぐんまレピア、灰汁浸加工、トルマリン 加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物 (作家作品、紋付地)、 白生地 (世紀二一)、後染帯地 ((冬物・夏物) : うるし糸が 5% を超 えるもの)、寝衣 (うぶ着、おくるみ)、和装小物 (袷紗)
022	宮階織物 (株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21 世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物 (色無地、訪問着)、先染帯地 (袋帯 (草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物 (有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)、先染反物 (御召類)、後染反 物、先染帯地 (袋帯 : 金銀糸が 5% を超えるもの)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都市上京区	洋装品 (マフラー、シャツ、ニット (ウオーマー、腹巻、 手袋、靴下))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物 (江戸小紋、付下、友禅、色無地)、後染帯地
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物 (色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	東京都中央区	後染反物 (振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、 白生地 (長襦袢地、胴裏)、ニット (靴下)
031	(株) さが美	横浜市港南区	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店 後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地)、後染帯地、白生地 (表地、胴裏、帯地)
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 柵屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	染織家柳崇	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	染織家児玉京子	沖縄県竹富町	先染反物
044	草木染工房山村	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、ストール
045	手織りよおん	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下)
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀ゲンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
068	第一衣料 (株)	東京都中央区	後染反物 (色無地)
069	(株) 紅輪	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
086	丸専第一衣料 (株) (丸専きもの)	新潟県長岡市	胴裏 (パールトーン加工)
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井絞 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装 品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
096	(株) 北尾織物匠	京都市上京区	先染帯地 (袋帯、名古屋帯)
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)
100	京商 (株)	鳥取県米子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(株) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、絹九寸帯 (金 銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、禪
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市中京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、パジャマ
150	(有) さいとう呉服店	千葉県市川市	後染反物 (色無地、付下)
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
155	東朋 (株)	京都府与謝野町	ストール
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ地、コート地、スカート地、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
165	(株) 染織こうげい	東京都中央区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) やまだ呉服店	長野県諏訪市	白生地 (縮緬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館“紫”(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館((財)日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ(株)周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5-1	0287-36-0949
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399

名 称	〒	住 所	電 話
日本司法博物館（松本歴史の里）	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設（結城市伝統工芸館）	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」（つるばみ）	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉淵町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2（大杉公園隣り）	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号（上田城跡公園内）	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館（織の文化館）	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房（織りの資料館）	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇（田勇機業株式会社）	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMS (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafs.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>

(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>

(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>

(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>

(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>

(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>

(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/L_in_bunshi_seibuts.html

(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>

(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department/bio/biofunc/index.html>

(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>

(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html

(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html

群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545

群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241

京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>

京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/jsss2/>
<http://jswsmo.appspot.com/index.html>

【博物館】

(財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市立野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
[http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk.](http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk/)
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	46
(2) 養蚕農家数の推移	47
(3) 繭生産数量の推移	48
(4) 平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	49
(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量	50
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移(2010～2012年)	51
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	52
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	53
(9) 絹需給の推移(生糸量換算試算)	54
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)	55
(11) 製糸工場の原料繭需給	56
(12) 製糸工場の操業状況	57
(13) 生糸在庫数量の内訳	58
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	59
(15) 生糸の原産国別輸入数量	60
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	61
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	62
(18) 絹織物生産数量	63
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	64
(20) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	65

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	66
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	67
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	68
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	69
(5) 中国のシルク類(生糸・絹糸・絹織物)の輸出状況	70
(6) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	71
(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	72
(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	73
(9) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	74
(10) 中国省別従業員年平均賃金(2011年)	75
(11) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	76
(12) ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移	77

—資料・国内—

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
年次 (暦年) Calendar year	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1997								
10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1998								
11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
1999								
12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2000								
13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2001								
14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2002								
15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2003								
16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2004								
17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2005								
18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2006								
19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2007								
20年	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2008								
21年	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2009								
22年	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
2010								
23年	627	220	351	0.7	7	50	34.7	10,418
2011								
24年	571	202	354	0.5	7	50	33.3	9,974
2012								
前年対比 (%) 2012/11	91.1	91.8	100.9	71.4	100.0	100.0	96.0	95.7

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機工業会調査である。
 ・平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
 ・平成23年以降の養蚕業は(財)大日本蚕糸会調査である。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のもの
 である。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
対前年比 2012/11 (%)		91.1	91.5	89.1	87.0

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3) 繭生産数量の推移
Cocoon Production

年次 Year	項目 Item	年計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年間	春蚕	初秋蚕	晩秋蚕
		Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	351	169	136	143
2012		202	79	50	73	354	155	156	159
対前年比 2012/11 (%)		91.8	83.2	102.0	96.1	100.9	91.7	114.7	111.2
2012年 構成比 (%)		100.0	39.1	24.8	36.1				

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).

The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(4)平成24年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2012

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	16	16	100.0	19	16	84.2	22	17	77.3	23	21	91.3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	16	18	112.5	16	11	68.8	17	17	100.0	22	21	95.5
山形県	9	7	77.8	7	6	85.7	8	7	87.5	10	8	80.0
福島県	51	58	113.7	44	50	113.6	56	57	101.8	60	65	108.3
茨城県	25	25	100.0	23	23	100.0	21	21	100.0	28	28	100.0
栃木県	33	27	81.8	24	21	87.5	31	26	83.9	33	27	81.8
群馬県	239	197	82.4	139	113	81.3	227	189	83.3	261	217	83.1
埼玉県	53	48	90.6	39	29	74.4	51	43	84.3	57	49	86.0
千葉県	7	9	128.6	5	6	120.0	8	8	100.0	8	12	150.0
東京都	5	4	80.0	-	-	-	4	5	125.0	6	6	100.0
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	10	10	100.0	2	2	100.0	-	-	-	10	12	120.0
福井県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
山梨県	24	23	95.8	9	8	88.9	20	18	90.0	26	24	92.3
長野県	23	16	69.6	17	16	94.1	21	14	66.7	26	22	84.6
岐阜県	16	17	106.3	-	-	-	17	14	82.4	18	17	94.4
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	2	200.0	1	2	200.0	-	-	-	1	2	200.0
京都府	3	4	133.3	-	-	-	4	3	75.0	4	4	100.0
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	-	1	-	1	1	100.0
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	15	17	113.3	10	8	80.0	12	10	83.3	17	18	105.9
高知県	4	3	75.0	-	-	-	2	1	50.0	4	3	75.0
熊本県	5	7	140.0	-	-	-	3	5	166.7	5	7	140.0
宮崎県	2	2	100.0	-	2	-	2	1	50.0	2	2	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	0	3	-	3	3	100.0	3	3	100.0
全国計	562	514	91.5	358	319	89.1	531	462	87.0	627	571	91.1

資料:(財)大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5) 平成24年度蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures in 2012.

(単位: kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晚 秋 蚕 期			年 間		
	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比	23年	24年	前年対比
青森県	-	-	-	156.3	157.2	100.6%	119.3	131.8	110.5%	275.6	289.0	104.9%
岩手県	1,977.5	1,858.5	94.0%	2,318.9	2,968.4	128.0%	2,474.0	2,225.8	90.0%	6,770.4	7,052.7	104.2%
宮城県	2,127.1	2,305.8	108.4%	2,341.8	2,313.1	98.8%	2,248.6	2,633.0	117.1%	6,717.5	7,251.9	108.0%
山形県	1,315.2	1,200.6	91.3%	767.4	1,013.7	132.1%	1,638.3	1,603.9	97.9%	3,720.9	3,818.2	102.6%
福島県	11,519.5	10,681.1	92.7%	8,972.5	10,834.8	120.8%	13,617.0	14,384.8	105.6%	34,109.0	35,900.7	105.3%
茨城県	4,486.0	3,817.2	85.1%	2,323.2	2,478.9	106.7%	3,028.4	2,704.4	89.3%	9,837.6	9,000.5	91.5%
栃木県	11,488.4	7,663.1	66.7%	5,259.7	4,262.8	81.0%	9,370.2	9,605.6	102.5%	26,118.3	21,531.5	82.4%
群馬県	42,178.0	34,931.3	82.8%	18,729.3	17,645.8	94.2%	28,938.0	27,792.0	96.0%	89,845.3	80,374.1	89.5%
埼玉県	7,692.5	6,520.4	84.8%	3,308.7	2,593.8	78.4%	6,061.7	4,757.8	78.5%	17,062.9	13,872.0	81.3%
千葉県	1,168.6	1,213.3	103.8%	569.4	633.0	111.2%	1,113.4	944.4	84.8%	2,851.4	2,790.7	97.9%
東京都	386.0	235.1	60.9%	-	-	-	163.3	178.5	109.3%	549.3	413.6	75.3%
山梨県	3,665.7	2,978.8	81.3%	805.7	1,095.3	135.9%	2,233.2	1,769.2	79.2%	6,704.6	5,843.3	87.2%
長野県	2,714.3	2,129.2	78.4%	1,765.0	1,855.0	105.1%	2,440.2	1,974.1	80.9%	6,919.5	5,958.3	86.1%
新潟県	186.4	159.8	85.7%	54.3	-	-	-	-	-	240.7	159.8	66.4%
福井県	62.4	32.2	51.6%	21.2	18.9	89.2%	23.0	34.3	149.1%	106.6	85.4	80.1%
岐阜県	1,086.0	874.9	80.6%	-	-	-	614.1	605.0	98.5%	1,700.1	1,479.9	87.0%
愛知県	64.1	36.9	57.6%	-	62.0	-	-	-	-	64.1	98.9	154.3%
兵庫県	42.0	75.0	178.6%	35.0	38.2	109.1%	-	41.5	-	77.0	154.7	200.9%
京都府	111.4	102.5	92.0%	-	-	-	93.3	77.0	82.5%	204.7	179.5	87.7%
愛媛県	1,992.9	1,789.7	89.8%	1,350.5	1,551.1	114.9%	1,482.3	1,386.4	93.5%	4,825.7	4,727.2	98.0%
高知県	228.4	168.7	73.9%	-	-	-	86.7	15.3	17.6%	315.1	184.0	58.4%
熊本県	431.9	449.1	104.0%	-	-	-	91.8	347.9	379.0%	523.7	797.0	152.2%
宮崎県	115.2	120.4	104.5%	-	-	-	67.3	62.9%	93.4%	182.5	183.2	100.4%
鹿児島県	1.5	49.5	3300.0%	-	69.0	-	6.6	51.0	772.7%	8.1	169.5	2092.6%
全国計	95,041.0	79,393.1	83.5%	48,778.9	49,591.0	101.7%	75,910.7	73,331.6	96.6%	219,730.6	202,315.6	92.1%

資料: (財)大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2010~2012年)

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2010年 (平成22年)		2011年 (平成23年)		2012年 (平成24年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号		3,420	26.2	2,729	24.6	2,806	27.6
錦秋 × 鐘和		2,400	18.4	2,100	19.0	1,818	17.8
ぐん × ま 200		1,627	12.5	1,388	12.5	1,443	14.2
春嶺1号 × 鐘月1号		2,072	15.9	1,419	12.8	1,175	11.5
春嶺 × 鐘月		1,001	7.7	1,002	9.0	838	8.2
かいりょう × あけぼの		487	3.7	435	3.9	416	4.1
松岡 × 姫		200	1.5	300	2.7	340	3.3
新小 × 石丸		355	2.7	396	3.6	324	3.2
芙蓉 × つくばね		300	2.3	180	1.6	143	1.4
上州 × 絹星		51	0.4	86	0.8		
世紀 × 二一		191	1.5	132	1.2	95	0.9
緑繭 × 1号		56	0.4	62	0.6	27	0.3
ブラチ × ナボ一イ		73	0.6	66	0.6	64	0.6
朝朝 × 東一海				50	0.5	50	0.5
朝朝 × つくばね		100	0.8	80	0.7	61	0.6
ぐん × ま黄石丸		152	1.2	76	0.7	70	0.7
改良 × 小石丸		87	0.7	78	0.7	33	0.3
白繭 × 細石丸		115	0.9	77	0.7	93	0.9
小 × 石丸		75	0.6	72	0.6	67	0.7
蚕 × 太		26	0.2				
蚕技 × 研11号		53	0.4	52	0.5	36	0.4
分離白1号 × 支106号		8	0.1				
白繭 × 細石丸				2	0.0		
新極 × 青		14	0.1				
玉 × 細石丸		30	0.2	5	0.0	15	0.1
鷹 × 小石丸		16	0.1	22	0.2	15	0.1
支21号 × 山		25	0.2	20	0.2	5	0.0
支又 × 四川3眠号		4	0.0	6	0.1	4	0.0
青 × 昔中515号		5	0.0				
諸 × 支21号		6	0.0	8	0.1	7	0.1
黄 × 紹白		4	0.0	1	0.0	1	0.0
青 × 熟中515号		5	0.0	15	0.1	33	0.3
鬼 × 縮中515号		3	0.0	2	0.0	2	0.0
い × ろ × ど		1	0.0	1	0.0	1	0.0
鐘 × 光 × 黄長		39	0.3	134	1.2	55	0.5
太 × 平 × 青		35	0.3	30	0.3		
支108号 × 青熟		7	0.1	13	0.1	28	0.3
は × 108号 × 青熟		5	0.0	7	0.1	7	0.1
秋 × 光 × 竜				22	0.2	80	0.8
秋 × 花 × 銀				5	0.0		
中515号 × 又				3	0.0		
琉球 × 多蚕繭				2	0.0	2	0.0
改良 × 黄				2	0.0	7	0.1
山東3眠 × C5						10	0.1
緑繭 × 2号						7	0.1
合計 Total		13,048	100.0	11,080	100.0	10,185	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source : The Dainippon Silk Foundation.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,928	8,261
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,826	7,586
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,409	7,186
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,696	7,131
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	9,028	6,271
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	—	10,926	2,456	17,526	428	8,422	6,229
2012	506	9,972	—	—	—	14,590	281	7,218	5,545
生糸年度 Silk Year									
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2011	654	8,541	—	9,907	2,348	15,540	433	7,725	5,945
2012	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	47	481	—	761	2,458	758	13	242	513
3	48	870	—	970	2,467	1,143	37	782	555
4	56	0	—	491	2,032	1,092	25	564	506
5	53	1,757	—	1,494	2,348	1,531	11	668	438
6	49	460	—	631	2,226	1,316	40	692	479
7	36	637	—	627	2,272	1,544	38	605	483
8	24	903	—	626	2,573	1,499	18	575	423
9	33	891	—	1,035	2,462	1,365	6	630	462
10	38	799	—	708	2,591	1,523	43	665	494
11	36	1,122	—	1,062	2,687	1,612	35	624	432
12	43	867	—	825	2,301	1,207	15	553	469
2013	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	38	958	—	1,014	2,283	1,744	11	598	355
2	32	906	—	818	2,403	1,138	13	517	409
3	36	1,148	—	1,034	2,553	1,337	44	466	525
4	36	0	—	567	2,022	1,552	16	610	445
5	35	1,314	—	969	2,402	1,629	23	692	482
6	36	925	—	976	2,387	1,175	21	599	479
7	28	611	—	702	2,324	1,326	66	688	461

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month+(A)+(B)} - {(C)+(E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
		計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year							
2005		2,508	8	337	834	799	527
2006		1,956	4	240	531	653	523
2007		1,747	5	259	495	514	474
2008		1,588	4	289	421	368	503
2009		1,152	1	243	392	251	262
2010		882	1	179	316	86	300
2011		731	1	188	249	89	204
2012		506	—	149	202	73	82
生糸年度 Silk Year							
2005		2,024	6	261	510	726	518
2006		1,794	4	269	480	562	475
2007		1,762	5	276	443	495	537
2008		1,378	1	291	447	280	360
2009		1,029	—	205	358	208	242
2010		814	1	176	273	55	309
2011		652	1	164	239	117	134
2011 -	8	53	1	9	24	6	13
	9	59	—	15	23	6	17
	10	56	—	23	14	12	7
	11	64	—	6	36	10	12
	12	52	—	19	10	16	7
2012 -	1	42	—	7	9	16	10
	2	47	—	15	10	17	5
	3	48	—	6	33	3	6
	4	56	—	17	19	11	9
	5	53	—	23	8	13	9
	6	49	—	15	29	0	5
	7	36	—	11	10	4	11
	8	24	—	8	12	0	4
	9	33	—	5	21	0	7
	10	39	—	14	14	4	7
	11	36	—	18	16	0	2
	12	43	—	10	21	5	7
2013 -	1	38	—	16	3	10	9
	2	32	—	6	12	5	9
	3	36	—	10	15	3	8

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3). Central Raw Silk Association (2010.4～).

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000Bales of
60kg)

項目 Item 暦年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④						期末 在庫 Ending Stocks ④	
	期初 在庫 Opening Stocks	生産 Produc- tion	輸入 Import					輸出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③			
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
対前年比 2012/11(%)	101	109	100	99	111	89	100	100	102	94	—	—	93	100	103	98

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)
After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item	暦年 Calendar Year	2007	2008	2009	2010	2011	2012	前年比% y/y	構成比% ratio
	布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments	3.9	2.5	1.8	2.8	2.2	2.4	109.1
女子用外衣類 Women's upper garments		50.0	40.2	37.1	38.4	51.2	50.0	97.7	35.3
うちブラウス Blouse of the inside		3.0	3.4	2.8	2.4	2.0	2.2	110.0	1.6
男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		2.2	1.6	1.1	1.0	1.4	1.5	107.1	1.1
女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		15.0	16.3	13.5	13.9	15.5	15.5	100.0	11.0
ハンカチ Handkerchief		0.5	0.5	0.4	0.3	0.5	0.3	60.0	0.2
ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.0	2.9	2.5	2.2	2.2	2.3	104.5	1.6
ネクタイ類 Ties		21.6	20.8	18.2	18.1	14.5	12.8	88.3	9.0
メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		21.2	19.8	15.9	17.9	18.6	22.7	122.0	16.0
その他の洋装類 Other western clothes		25.4	23.7	22.0	21.0	20.2	19.1	94.6	13.5
洋装類計 Western clothes subtotal	143.0	128.3	112.4	115.6	126.3	126.6	100.2	89.4	
和装類計 Japanese clothes subtotal	15.5	14.7	15.9	14.5	12.5	11.8	94.4	8.3	
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside	12.9	12.1	13.9	12.5	10.1	10.1	100.0	7.1	
その他 Others	2.5	2.4	1.9	2.9	3.1	3.2	103.2	2.3	
合計 Total	161.0	145.4	130.2	133.0	141.9	141.6	99.8	100.0	

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注）：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source:The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note :Total may not added up due to round off.

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
	2005	806	830	589
	2006	600	645	541
	2007	548	581	505
	2008	393	518	378
	2009	308	385	313
	2010	240	299	263
	2011	189	162	237
	2012	185	209	183
生糸年度 Silk Year				
	2005	837	693	390
	2006	562	599	349
	2007	502	583	266
	2008	406	452	224
	2009	324	337	209
	2010	260	281	188
	2011	202	224	144
	2011 — 10	41	20	256
	11	19	21	254
	12	0	17	237
	2012 — 1	4	15	226
	2	0	16	210
	3	0	16	194
	4	0	19	168
	5	9	18	144
	6	37	16	165
	7	24	12	177
	8	39	7	201
	9	3	11	193
	10	56	15	234
	11	4	11	227
	12	9	53	183
	2013 — 1	0	11	172
	2	1	10	163
	3	0	13	150

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2005	10	203	126	62	269	111
	2006	9	114	94	82	266	103
	2007	8	112	93	83	266	100
	2008	7	112	90	80	266	90
	2009	7	118	71	60	259	82
	2010	7	118	58	49	247	73
	2011	7	110	57	52	188	65
	2012	7	110	39	35	243	56
2011 —	4	7	118	55	47	21	66
	5	7	110	55	50	20	64
	6	7	110	52	47	21	60
	7	7	110	55	50	22	56
	8	7	110	53	48	20	64
	9	7	110	64	58	21	65
	10	7	110	57	52	21	66
	11	7	110	55	50	21	66
	12	7	110	57	52	21	65
2012 —	1	7	110	51	46	18	63
	2	7	110	48	44	19	63
	3	7	110	47	43	19	63
	4	7	110	53	48	22	57
	5	7	110	60	55	21	56
	6	7	110	50	45	22	56
	7	7	110	38	35	14	57
	8	7	110	24	22	20	52
	9	7	110	29	26	21	52
	10	7	110	40	36	23	56
	11	7	110	41	37	22	58
	12	7	110	39	35	22	56
2013 —	1	7	110	41	37	20	55
	2	7	110	36	33	21	55
	3	7	110	35	32	22	55

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳
Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場 売買業者 Dealers	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers	受 入 数 量 Accepts	引 渡 数 量 Deliveries	在庫数量 Ending Stocks
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
生糸年度 (6~5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2011	2,348	2,348	304	0	1,481	583			
2011 —									
3	3,563	3,563	288	0	2,511	764			
4	3,154	3,154	288	0	2,182	684			
5	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
6	2,932	2,932	213	0	2,110	609			
7	2,872	2,872	229	0	2,095	548			
8	2,882	2,882	243	0	2,168	471			
9	2,431	2,431	281	0	1,729	421			
10	2,462	2,462	273	0	1,664	525			
11	2,256	2,256	282	0	1,559	415			
12	2,456	2,456	288	0	1,651	520			
2012 —									
1	2,691	2,691	277	0	1,825	586			
2	2,458	2,458	271	0	1,694	493			
3	2,467	2,467	273	0	1,696	498			
4	2,032	2,032	284	0	1,380	368			
5	2,348	2,348	304	0	1,481	563			
6	2,226	2,226	299	0	1,344	538			
7	2,272	2,272	283	0	1,474	515			
8	2,573	2,573	280	0	1,656	637			
9	2,462	2,462	267	0	1,698	497			
10	2,591	2,591	263	0	1,764	564			
11	2,687	2,687	248	0	1,842	597			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～)。

(14) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成20年～25年8月)
Breakdown of Silk-Related Products Imports (2008～Aug. 2013)

	単位 Unit	平成25年(2013)		平成24年 (2012)	平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	24年/23年 2012/11 (%)
		(8月) Aug.	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	758	6,620	10,032	9,323	12,209	12,085	15,242	107.6
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	1,288	11,188	16,179	17,526	16,306	16,647	22,636	92.3
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	6	146	82	-	82	149	317	-
繭 Cocoon	kg	200	1,200	6,250	4,050	13,158	9,800	4,000	154.3
真綿 Floss Silk	kg	-	-	-	-	-	-	29,071	-
ペニ Peigne	kg	-	-	-	-	-	35,331	2,770	-
くず繭 Waste Cocoon	kg	1,950	11,317	6,457	10,885	9,395	33,450	23,770	59.3
絹ノイル Silk Noil	kg	-	-	-	-	-	-	202,220	-
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	3,939	60,998	107,023	98,732	134,852	103,122	193,125	108.4
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	5,889	72,315	107,022	109,617	144,247	171,903	450,956	97.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	27,959	291,705	482,523	394,920	451,219	335,710	526,662	122.2
絹紡糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	9,140	111,660	140,188	118,404	104,374	97,554	143,585	118.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	514,678	4,683,248	7,403,581	8,545,903	9,029,003	8,996,010	11,540,335	86.6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位：60kg 俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
		Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦年 Calendar Year							
2008		15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122	-
2009		12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	-	41	-
2010		12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	-	32	-
2011		9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	-	5	-
2012		10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	-	-	-
生糸年度 Silk Year							
2008		12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009		12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010		12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2011		8,602 (53)	6,846 (21)	1,754 (32)	1	39	-
2011	- 11	550	325	225	-	-	-
	12	717	697	20	-	3	-
2012	- 1	1,185	1,149	36	-	-	-
	2	481 (10)	289 (10)	193	-	-	-
	3	931 (6)	870 (6)	61	-	-	-
	4	0	0	0	-	-	-
	5	1,757 (5)	1,508 (5)	249	-	-	-
	6	460	360	99	-	-	-
	7	637 (6)	526	110 (6)	-	-	-
	8	903 (5)	817	81 (5)	-	-	-
	9	891	750	141	-	-	-
	10	799 (7)	660 (5)	139 (2)	-	-	-
	11	1,122 (5)	963 (5)	159	-	-	-
	12	867 (5)	736 (5)	130	-	-	-
2013	- 1	958 (10)	918 (10)	40	-	-	-
	2	906 (9)	698 (7)	207 (2)	-	-	-
	3	1,148 (17)	1,083 (17)	65	-	-	-
	4	-	-	-	-	-	-
	5	1,314 (25)	1,031 (15)	278 (10)	5	-	-
	6	925	841	84	-	-	-
	7	611 (2)	539	72 (2)	-	-	-
	8	758 (15)	577	176 (10)	5 (5)	-	-

資料：財務省関税局調査

備考：1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年月 Year&Month	国名 Country	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year									
2008		22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009		16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010		16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011		17,526	—	10,384	5,129	7	—	554	212
2012		16,179	—	9,924	4,908	15	—	1,109	223
生糸年度 Silk Year									
2008		18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009		17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010		12,293	—	7,607	3,595	8	—	945	140
2011		15,540	—	9,060	4,364	44	—	1,713	303
2011 —	9	1,340	—	745	543	1	—	51	—
	10	1,165	—	542	309	—	—	243	70
	11	1,202	—	672	297	—	—	232	—
	12	1,001	—	692	219	—	—	28	61
2012 —	1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	80
	2	758	—	378	216	1	—	162	—
	3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
	4	1,092	—	662	326	—	—	103	—
	5	1,531	—	1,001	328	—	—	124	78
	6	1,316	—	727	514	1	—	75	—
	7	1,554	—	907	488	—	—	97	53
	8	1,499	—	897	561	—	—	41	—
	9	1,365	—	773	506	1	—	73	12
	10	1,523	—	953	456	3	—	112	—
	11	1,612	—	982	568	5	—	56	—
	12	1,207	—	824	310	1	—	71	—
2013 —	1	1,744	—	1,080	612	—	—	52	—
	2	1,138	—	616	429	—	—	93	—
	3	1,337	—	940	342	5	—	50	—
	4	1,552	—	880	574	—	—	95	3
	5	1,629	—	1,012	545	1	—	71	—
	6	1,175	—	660	446	3	—	67	—
	7	1,326	—	729	555	4	—	38	—
	8	1,288	—	750	419	1	—	118	—

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, Kg/円

項目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012	8,628	4,289	1,398	5,277	9,926	4,383	1,119	6,032	4,908	4,494
2011 - 10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681
12	697	4,469	20	5,492	692	4,309	28	6,313	219	4,560
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
4	-	-	-	-	662	4,372	103	6,065	326	4,887
5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625
6	360	4,347	99	5,005	727	4,370	75	5,876	515	4,703
7	526	4,220	110	5,013	907	4,502	97	5,930	488	4,591
8	817	4,130	81	5,151	897	4,433	41	5,850	561	4,402
9	750	4,212	141	5,353	773	4,315	73	6,167	506	4,320
10	660	4,151	139	5,333	953	4,295	112	6,224	456	4,435
11	963	4,405	159	5,417	982	4,514	56	6,347	568	4,130
12	736	4,758	130	5,571	824	4,815	71	6,599	310	4,755
2013 - 1	918	5,103	40	6,180	1,080	5,172	52	7,079	612	5,084
2	698	6,029	207	6,284	616	5,574	93	7,318	429	5,362
3	1,083	5,733	65	6,749	940	5,959	50	7,806	342	5,789
4	-	-	-	-	880	6,106	95	8,026	574	5,974
5	1,031	6,132	278	7,271	1,012	6,311	71	8,405	545	6,105
6	841	6,237	84	7,517	660	6,461	67	8,602	446	6,505
7	539	5,855	72	7,850	729	6,285	38	8,783	555	6,362
8	577	6,223	176	7,869	750	6,469	118	8,807	419	6,392

資料：財務省調査。通関統計による、単価はCIF価格である。

Source: The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks: A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics									
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics		
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn			
年 月 Year & Month	暦 年 Calendar Year										
		2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
		2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
		2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
		2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
		2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
		2011	10,418	4,105	2,615	198	1,292	4,338	1,615	2,719	1,979
		2012	7,523	3,431	1,872	151	1,414	2,392	1,339	1,052	1,700
	2012 — 4		832	379	207	17	156	265	148	116	188
	5		866	395	216	17	163	275	154	121	196
	6		887	406	221	18	167	282	158	124	200
	7		866	395	216	17	163	275	154	121	196
	8		743	339	185	15	140	236	132	104	168
	9		719	328	179	14	135	229	128	101	162
	10		880	401	219	18	165	280	157	123	199
	11		880	401	218	18	165	280	157	123	199
	12		849	387	211	17	160	270	151	119	192
	2013 — 1		828	386	209	16	161	250	122	127	192
	2		838	390	212	16	163	253	123	129	189
	3		852	397	215	16	165	257	125	131	192
	4		890	415	225	17	173	269	131	137	201
	5		852	397	215	16	165	257	125	131	192
	6		879	410	222	17	171	266	129	135	199
	7		907	423	229	17	176	274	133	140	205
	8		721	336	182	14	140	218	106	111	167

資 料：(社)日本絹人織織物工業会。

備 考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks : Spun and mixed fabrics included .

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項目 Item	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	9,944	96.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2011 —								
5	840	85.6	39,714	93.4	6,096	89.3	62,562	88.8
6	911	82.6	41,785	94.6	6,072	79.2	60,832	84.0
7	834	82.2	43,509	98.5	5,399	72.9	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	6,064	82.6	49,057	81.2
9	788	81.9	38,639	82.6	5,394	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,116	84.3	5,589	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,376	90.3	52,433	77.0
2012 —								
1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	832	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	832	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	866	103.1	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9
6	887	97.4	43,214	103.4	5,335	87.9	47,616	78.3
7	866	103.8	39,999	91.9	5,967	110.5	47,268	87.9
8	743	95.4	31,797	92.5	4,052	67.0	45,892	93.5
9	719	91.2	39,579	102.4	5,051	93.6	44,900	73.0
10	880	107.2	36,734	93.9	5,159	92.3	55,813	108.2
11	880	100.5	38,312	102.5	4,994	84.2	56,530	101.3
12	849	95.5	40,343	101.3	4,904	91.2	54,067	103.1
2013 —								
1	828	103.3	25,024	83.7	4,453	93.0	54,617	105.4
2	838	102.4	41,930	109.3	4,632	82.2	52,253	80.3
3	852	102.4	37,110	98.3	4,306	81.2	55,771	89.7
4	890	107.0	38,904	92.1	5,498	97.9	61,790	107.1
5	852	98.4	34,916	104.9	4,794	78.5	59,581	104.8
6	879	99.1	40,887	94.6	4,694	88.0	49,312	103.6
7	907	104.7	36,717	91.8	5,023	84.1	46,098	97.5
8	721	97.0	30,707	96.6	3,564	81.9	43,162	94.1

資 料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(20) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
年月 Year & Month												
暦年Calendar Year												
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	295,704	▲ 2.5	13,372	▲ 1.0	390	10.0	5,144	▲ 4.2	2,662	3.1	1,375	2.9
2012	286,169	0.9	11,453	▲ 2.5	246	▲ 7.2	4,305	1.2	2,410	▲ 6.6	1,087	▲ 6.9
2011 - 10	285,605	▲ 0.4	13,099	2.3	625	161.8	5,023	▲ 0.2	2,790	4.8	1,201	▲ 7.4
11	273,428	▲ 3.2	13,230	5.6	490	122.6	5,026	0.1	2,649	10.0	1,280	▲ 1.1
12	328,080	0.5	13,786	7.7	54	▲ 21.5	5,382	3.3	2,547	10.9	1,644	15.9
2012 - 1	283,124	▲ 2.3	13,148	4.3	271	125.6	5,496	0.9	2,675	5.5	1,132	▲ 0.2
2	267,855	2.3	8,829	0.5	380	34.9	3,713	▲ 3.3	1,543	4.5	733	0.4
3	303,841	3.4	12,167	10.2	148	▲ 67.1	5,512	10.2	2,065	13.2	878	14.9
4	301,948	2.6	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	4.0	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6
6	269,810	1.6	11,208	▲ 1.4	169	49.2	3,627	0.4	2,760	▲ 5.4	1,169	▲ 4.5
7	283,295	1.7	11,920	▲ 1.5	239	▲ 15.4	3,923	▲ 3.7	3,161	0.7	1,286	▲ 2.8
8	286,036	1.8	8,627	▲ 3.0	381	▲ 17.1	2,685	0.0	2,062	0.5	960	1.9
9	266,705	▲ 0.9	8,436	▲ 2.9	188	▲ 15.8	2,900	▲ 1.9	1,876	▲ 1.0	837	▲ 2.5
10	284,238	▲ 0.1	12,195	▲ 6.7	244	▲ 61.4	4,637	▲ 7.5	2,559	▲ 8.2	1,129	▲ 5.6
11	273,772	0.2	13,814	4.8	545	10.3	5,394	7.8	2,541	▲ 3.8	1,382	8.5
12	325,492	▲ 0.7	13,813	0.5	172	215.0	5,571	4.0	2,475	▲ 2.7	1,526	▲ 6.9
2013 - 1	288,934	2.4	12,301	▲ 6.7	28	▲ 89.8	5,208	▲ 6.0	2,592	▲ 3.3	1,110	▲ 1.4
2	268,099	0.8	9,117	3.8	194	▲ 49.2	4,053	9.5	1,647	7.6	738	0.8
3	316,166	5.2	13,271	9.3	138	▲ 7.3	6,177	11.2	2,357	16.1	848	▲ 3.2
4	304,382	1.5	11,762	0.6	134	41.0	4,557	3.5	2,512	2.8	868	▲ 7.5
5	282,366	▲ 1.6	12,400	6.9	231	87.0	4,077	7.3	2,956	6.4	1,142	6.1
6	269,418	▲ 0.4	12,139	8.1	419	148.6	4,088	12.4	2,933	6.0	1,130	▲ 4.1
7	286,098	0.1	11,876	▲ 1.2	194	▲ 18.2	4,091	3.0	3,174	▲ 0.8	1,224	▲ 5.5

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

一資料・海外一

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
日本	Japan	トン 626	トン 505	トン 433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
日本	Japan	トン 382	トン 327	トン 265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%) (MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%) (MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河北	Hebei	1,200	1,500	125	-	-	-
江蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘肅	Gansu	253	304	120	-	-	-
寧夏	Ningxia	126	126	100	-	-	-
新疆	Xinjiang	450	580	129	-	-	-
内モンゴ	Inner Mongolia	-	-	-	66	64	97
合計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数 (件) Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン)(Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai						0.0	0.0						
江 蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙 江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安 徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山 東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河 南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖 北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖 南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広 東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広 西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四 川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘 肅	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類(生糸、絹糸、絹織物)の輸出状況

Silk Exports of China
(2012年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 インド	India	4,505,837	109.52	210,390	100.64
2 ベトナム	Vietnam	783,904	125.53	38,084	124.02
3 ルーマニア	Romania	729,411	100.11	35,729	93.89
4 日本	Japan	482,249	119.68	25,830	114.45
5 韓国	South Korea	412,421	88.43	20,393	83.14
6 イタリア	Italy	309,833	99.30	15,627	90.46
7 バングラデッシュ	Bangladesh	105,212	119.12	4,869	111.62
8 ミャンマー	Myanmar	99,217	120.59	4,827	114.80
9 ブラジル	Brazil	41,321	93.39	2,253	95.72
10 ブルガリア	Bulgaria	39,232	250.59	2,008	237.55
11 その他	Others	165,357	68.19	8,442	66.12
合計	Total	7,673,994	107.75	368,452	100.47

Silk Exports of China
(2013年1月～9月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 インド	India	2,436,371	65.01	131,430	76.11
2 ルーマニア	Romania	737,550	156.33	41,462	181.54
3 ベトナム	Vietnam	667,802	127.13	36,919	150.19
4 日本	Japan	333,703	94.23	20,215	107.85
5 イタリア	Italy	272,525	124.63	15,899	144.83
6 韓国	South Korea	245,720	75.24	13,874	87.20
7 バングラデッシュ	Bangladesh	79,761	93.59	4,419	114.88
8 ブラジル	Brazil	77,878	232.26	4,743	262.43
9 ミャンマー	Myanmar	57,758	77.04	3,241	91.53
10 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	35,764	336.79	1,918	406.27
11 その他	Others	98,374	71.28	5,646	82.23
合計	Total	5,043,206	84.24	279,766	99.11

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 日本	Japan	655,083	100.22	35,489	94.83
2 インド	India	399,229	45.92	19,203	43.04
3 イタリア	Italy	370,973	69.85	19,699	64.49
4 ドイツ	Germany	256,806	128.67	13,932	135.84
5 パキスタン	Pakistan	249,628	92.67	12,357	88.13
6 韓国	South Korea	188,559	103.41	9,625	98.64
7 タイ	Thailand	108,350	79.70	5,628	71.47
8 インドネシア	Indonesia	75,921	80.69	3,737	76.81
9 ベトナム	Vietnam	47,662	143.83	2,312	135.88
10 香港	Hong Kong	27,214	205.14	1,036	197.85
11 その他	Others	196,543	97.95	9,827	94.46
合計	Total	2,575,968	80.94	133,927	78.30

相手国	Country	絹糸 Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 日本	Japan	491,464	104.49	29,659	117.31
2 イタリア	Italy	320,609	117.98	19,678	138.48
3 インド	India	260,415	89.87	14,525	108.13
4 ドイツ	Germany	172,119	82.18	10,958	97.97
5 パキスタン	Pakistan	113,940	58.82	6,636	70.51
6 韓国	South Korea	111,658	80.57	6,397	93.77
7 タイ	Thailand	82,654	108.59	5,010	130.90
8 インドネシア	Indonesia	41,626	61.56	2,355	71.56
9 リビア	Libya	27,910	161.31	2,320	180.63
10 ブラジル	Brazil	26,966	300.06	1,885	313.00
11 その他	Others	160,884	85.02	8,909	93.62
合計	Total	1,810,245	93.66	108,332	109.57

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11 (%)	2012年実績	12/11 (%)
1 パキスタン	Pakistan	60,795,118	123.71	221,429	136.62
2 イタリア	Italy	30,611,776	91.29	173,999	93.77
3 インド	India	22,883,399	71.21	107,334	74.15
4 香港	Hong Kong	14,413,983	98.38	104,429	102.96
5 韓国	South Korea	11,463,400	82.42	76,701	91.32
6 アラブ首長国連邦	United Arab Em	9,815,910	134.63	61,898	169.70
7 日本	Japan	9,265,038	89.70	43,154	92.75
8 マレーシア	Malaysia	7,114,607	111.84	38,315	100.89
9 アメリカ	United States	5,571,051	89.10	42,063	95.11
10 トルコ	Turkey	3,799,272	73.73	21,575	79.00
11 その他	Others	1,251,674	80.75	166,336	89.02
合計	Total	206,985,228	95.19	943,958	100.01

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2013年実績	13/12 (%)	2013年実績	13/12 (%)
1 パキスタン	Pakistan	34,737,654	92.10	148,753	111.78
2 イタリア	Italy	19,934,301	88.34	119,026	92.70
3 インド	India	12,245,459	72.41	64,038	81.83
4 香港	Hong Kong	7,918,840	73.92	63,021	81.45
5 アラブ首長国連邦	United Arab Er	7,554,027	105.84	50,894	113.10
6 韓国	South Korea	6,904,107	79.58	49,135	84.81
7 日本	Japan	6,251,399	85.96	31,488	94.88
8 マレーシア	Malaysia	4,566,691	80.29	28,530	95.14
9 アメリカ	United States	3,290,136	76.89	28,012	88.28
10 トルコ	Turkey	3,279,656	113.60	21,132	130.32
11 その他	Others	18,623,786	79.22	112,470	91.25
合計	Total	125,306,056	84.89	716,499	94.98

資料:中国税関

Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関

Source: Customs General Administration in China

(6)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2013年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		117.45 ~ 129.95	1,879 ~ 2,079
2	玉繭(double cocoon)		91.10 ~ 101.15	1,458 ~ 1,618
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	94.95 ~ 105.13	1,519 ~ 1,682
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	100.93 ~ 108.73	1,615 ~ 1,740
5	ビス(bisu)		75.30 ~ 84.40	1,205 ~ 1,350
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	381.43 ~ 385.43	6,103 ~ 6,167
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	383.25 ~ 385.85	6,132 ~ 6,174
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	376.75 ~ 381.25	6,028 ~ 6,100
9	玉糸(doupion silk)	110d	293.53 ~ 300.78	4,696 ~ 4,812
10	土糸(native silk)	110d	277.03 ~ 286.50	4,432 ~ 4,584
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(元/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	33.56 ~ 35.31	537 ~ 565
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	27.78 ~ 29.28	445 ~ 469
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	49.00 ~ 50.25	784 ~ 804
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	52.15 ~ 53.77	834 ~ 860
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	45.03 ~ 46.37	720 ~ 742
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	39.00 ~ 40.38	624 ~ 646

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=16Yen

2013年9月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)		113.95 ~ 127.18	1,823 ~ 2,035
2	玉繭(double cocoon)		89.20 ~ 99.63	1,427 ~ 1,594
3	キビソ(frison)	(多条機)multi-ends reel	93.28 ~ 103.40	1,492 ~ 1,654
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	98.10 ~ 106.30	1,570 ~ 1,701
5	ビス(bisu)		73.63 ~ 81.03	1,178 ~ 1,296
6	生糸(raw silk)	21d、工場検査	376.43 ~ 380.60	6,023 ~ 6,090
7	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	377.63 ~ 381.38	6,042 ~ 6,102
8	生糸(raw silk)	42d、工場検査	368.75 ~ 372.25	5,900 ~ 5,956
9	玉糸(doupion silk)	110d	294.08 ~ 304.70	4,705 ~ 4,875
10	土糸(native silk)	110d	280.08 ~ 286.85	4,481 ~ 4,590
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(元/メートル) (price range)
11	羽二重(habutae)	45吋(inch)10匁(mom)	32.21 ~ 34.46	515 ~ 551
12	羽二重(habutae)	45吋(inch)8匁(mom)	27.01 ~ 29.15	432 ~ 466
13	シャンタン(shantung)	45吋(inch)16匁(mom)	45.38 ~ 47.63	726 ~ 762
14	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	50.98 ~ 53.40	816 ~ 854
15	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	44.12 ~ 46.24	706 ~ 740
16	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.12 ~ 40.18	610 ~ 643

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

注:1元=16円

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

Remarks:Rate 1Yuan=16Yen

(7) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額 (億元) Total Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State- owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State- owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.4	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1
2011年	59,954.7	28,954.8	1,737.4	29,262.4	26.8	16.3	21.2	39.7
2012年	70,914.2	32,950.0	1,990.4	35,973.8	18.3	13.8	14.6	22.9

資料：中国統計年鑑(2013)

Source: China Statistical Yearbook 2013

(8) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対前年増減率 (%) Indices (preceding year=100)							
					名目賃金 Average Wage				実質賃金 Average Real Wage			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7
2011年	41,799	43,483	28,791	41,323	14.4	13.4	19.9	15.4	8.6	7.7	13.9	9.6
2012年	46,769	48,357	33,784	46,360	11.9	11.2	17.3	12.2	9.0	8.3	14.2	9.3

中国統計年鑑2013 Source: China Statistical Yearbook 2013

(9)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717	19,469	22,687
採掘業 Mining	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196	52,230	56,946
製造業 Manufacturing	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916	36,665	41,650
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309	52,723	58,202
建築業 Construction	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529	32,103	36,483
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466	47,078	53,391
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436	70,918	80,510
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635	40,654	46,340
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382	27,486	31,267
金融業 Financial Intermediation	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146	81,109	89,743
不動産業 Real Estate	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870	42,837	46,764
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566	46,976	53,162
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376	64,252	69,254
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544	28,868	32,343
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206	33,169	35,135
教育 Education	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968	43,194	47,734
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232	46,206	52,564
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428	47,878	53,558
公共機関、社会団体 Public Management and Social Organization	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242	42,062	46,074
合計 Total	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539	41,799	46,769

(出所)中国統計年鑑2013

Source: China Statistical Yearbook 2013

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
製造業 Manufacture	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908	476,645	541,450
合計 Total	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007	543,387	607,997
年別人民元yuan/円yenレート	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00	13.00	13.00

(10) 中国省別従業員年平均賃金(2012年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region		年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)	
北	京	Beijing	84,742	1,101,646	181.19
天	津	Tianjin	61,514	799,682	131.53
河	北	Hebei	38,658	502,554	82.66
山	西	Shanxi	44,236	575,068	94.58
内	蒙	Inner Mongolia	46,557	605,241	99.55
遼	寧	Liaoning	41,858	544,154	89.50
吉	林	Jilin	38,407	499,291	82.12
黒	龍	Heilongjiang	36,406	473,278	77.84
上	海	Shanghai	78,673	1,022,749	168.22
江	蘇	Jiangsu	50,639	658,307	108.27
浙	江	Zhejiang	50,197	652,561	107.33
安	徽	Anhui	44,601	579,813	95.36
福	建	Fujian	44,525	578,825	95.20
江	西	Jiangxi	38,512	500,656	0.04
山	東	Shandong	41,904	544,752	89.60
河	南	Henan	37,338	485,394	79.83
湖	北	Hubei	39,846	517,998	85.20
湖	南	Hunan	38,971	506,623	83.33
広	東	Guangdong	50,278	653,614	107.50
広	西	Guangxi	36,386	473,018	77.80
海	南	Hainan	39,485	513,305	84.43
重	慶	Chongqing	44,498	578,474	95.14
四	川	Sichuan	42,339	550,407	90.53
貴	州	Guizhou	41,156	535,028	88.00
雲	南	Yunnan	37,629	489,177	80.46
西	蔵	Tibet	51,705	672,165	110.55
陝	西	Shaanxi	43,073	559,949	92.10
甘	肅	Gansu	37,679	489,827	80.56
青	海	Qinghai	46,483	604,279	99.39
寧	夏	Ningxia	47,436	616,668	101.43
新	疆	Xinjiang	44,576	579,488	95.31
全国平均		Average	46,769	607,997	100.00

(出所) 中国統計年鑑2013 Source: China Statistical Yearbook 2013

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(11)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9~8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11	3,038 (68%)
2011/12	2,619 (86%)
2012/2013 〔見込み〕 〔Estimate〕	2,431 (93%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	770,000 (95%)	12,833
2011	557,633 (72%)	9,294
2012	439,504 (79%)	7,325

資料:ブラタク製糸株式会社

注:()内は対前年比

[]内の見込みは2013年3月現在

Source: Fiação de Seda Brtác S.A

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of March 2013.

(12)ブラジルの生糸・絹糸輸出数量の推移

Raw Silk and Thrown Silk Yarns Exportation

区 分		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
		kg %	kg %	kg %	kg %	kg %
日本	Japan	388,498 34%	442,264 44%	296,578 34%	294,346 38%	245,106 48%
ベトナム	Vietnam	381,433 33%	243,950 25%	308,464 36%	217,347 28%	126,563 25%
フランス	France	96,764 8%	101,391 10%	74,747 9%	53,441 7%	87,886 17%
イタリア	Italy	93,903 8%	83,032 8%	68,418 8%	143,159 19%	39,295 8%
韓国	South Korea	33,924 3%	43,844 4%	25,259 3%	27,916 4%	0
トルコ	Turkey	54,529 5%	21,370 2%	16,165 2%	21,131 3%	3,660 1%
ドイツ	Germany		6,095 1%		3,742 0%	6,143 1%
インド	India	68,687 6%	38,072 4%	73,181 8%	3,600 0%	0
チュニジア	Tunisia	8,466 1%	2,428 0%		2,609 0%	1,205 0%
スイス	Switzerland	17,861 2%	11,344 1%	758 0%	256 0%	0
その他	the others	6,232 0%	1,012 0%	3,189 0%	242 0%	200 0%
合 計	Total	1,150,297 100%	994,801 100%	866,759 100%	767,789 100%	510,058 100%

資 料 : ブラタク製糸株式会社

Source : Fiação de Seda Brtac S.A

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2013年11月号 NO.33 平成25年11月1日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館5階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず